

令和元年度 松本市小中学校 環境教育支援事業 報告書



松本市

松本市小中学校環境教育支援事業について

1 本事業について

学校における環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ地域の企業・団体等が外部講師となる「環境学習プログラム」を小中学校へ紹介しています。

平成22年度から、民間（環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク）、松本市教育委員会、松本市の3者による協働事業として実施しています。

2 経過

- (1) 平成31年4月12日 松本市小中学校教頭会で周知
小中学校へプログラム一覧配布と申込書募集開始
- (2) 令和元年5月10日 申込書提出締切
随時プログラム実施

3 実施状況（令和元年3月現在）

- (1) 実施校 17校（小学校17校 中学校その他0校）
- (2) 実施人数 2,365人（小学生2,365人、中学生その他0人）
- (3) 実施事業 42事業（22種類）
- (4) 実施団体 14団体

4 報告書目次

- (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 1～72頁
- (2) 松本市小中学校環境教育支援事業 講師コメント 73～75頁
- (3) 令和元年度学習プログラム一覧 76～119頁
- (4) 信州の環境学習サポートサイト 紹介 118頁
- (5) 【附録】松本市環境政策課からのお知らせ 119～120頁

【表紙写真】

左：鎌田小学校「水はどこから？」 中央：安曇小学校「水殿ダムクラフトピクニック」 右：中山小学校「ひみつきち作り」


令和元年度 小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

No.	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
1	梓川小	7 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス	5年5クラス (152)	8/27	1～4
2	梓川小	26 梓川リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	5年5クラス (152)	8/29,8/30	
3	梓川小	9 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	5年5クラス (153)	11/12, 11/13, 11/14	5～8
4	梓川小	12 木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ	5年3クラス (93)	12/3 12/4	9～11
5	梓川小	14 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）	5年2クラス (61)	12/10	12～13
6	安曇小	24 水辺の生物の観察会【上高地学習「上高地の水生昆虫の観察」】	NPO法人川の自然と文化研究所	1・2年(6)	9/9	14～15
7	安曇小	34 いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファームin松本推進協議会	1・2年(6)	9/12	16～17
8	安曇小	26 梓川リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	3・4・5年 (11)	9/17	18～19
9	安曇小	28 水殿ダムクラフトピクニック（ダム見学付き）	合同会社リトルピークス	5・6年(8)	10/23	20～21
10	安曇小	38 自然体験プログラム	NPO法人わおん	1・2年(6)	10/23	22～23
11	今井小	22 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ	1・2年(39)	10/3	24～25
12	大野川小	39 外あそびの達人講座	NPO法人わおん	1・2年(7)	6/20	26
13	大野川小	17 水はどこから？	(株)環境技術センター	3年(2)	7/17	27
14	大野川小	30 地元の山が100倍好きになる登山学【乗鞍さんぽ】	合同会社リトルピークス	1・2年(7)	10/24	28
15	岡田小・女鳥羽中 あさひ分校	33 石窯ピザづくりたいけん	石窯スマイル研究会	3～6年(11)	7/4	29
16	鎌田小	17 水はどこから？ 【水のゆくえ】	(株)環境技術センター	4年5クラス (167)	8/28, 8/30, 9/4	30～31
17	四賀小	9 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	3年(21)	10/23	32
18	島内小	24 水辺の生物の観察会 【堰の生きもの、全員集合！！】	NPO法人川の自然と文化研究所 (株)環境技術センター	3年4クラス (119)	9/3	33～34
19	菅野小	22 身近な自然観察【草花をさがそう～かんさつ名人になろう】	自然観察の会 ひこばえ	2年3クラス (100)	6/19	35
20	菅野小	15 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん	2年3クラス (100)	9/18	36～37
21	菅野小	9 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (35)	10/1	38～39

No.	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
22	菅野小	38 自然体感プログラム	NPO法人わおん	2年3クラス (100)	10/28 (10/29)	40～41
23	田川小	24 水辺の生物の観察会 【川の生き物探し】	NPO法人川の自然と文化 研究所	3年2クラス (43)	6/18	42～43
24	田川小	25 生きもの観察「今、自然を大切にす ることがなぜ大切か？」 【川の生き物探し】	松本ホテル学（まなぶ）会	2年2クラス (55)	6/18	44～45
25	田川小	7 川大好き！大河の一滴プロジェクト スライドショー【人のくらしと川～ 犀川下り～ 事前学習】	合同会社リトルピークス	4年2クラス (50)	8/28	46
26	田川小	27 犀川ラフティング【人のくらしと川 ～犀川下り～ 現地学習】	合同会社リトルピークス	4年2クラス (51)	9/9	47
27	田川小	17 水はどこから？ 【命を育む水の循環】	㈱環境技術センター	4年2クラス (51)	10/10	48
28	奈川小	27 ラフティング【奈川渡ダムラフティン グ体験～奈川渡ダム湖の自然を観察し よう】	合同会社リトルピークス	2年・4年・ 6年(7)	10/17	49
29	並柳小	38 自然体感プログラム【どんな生きもの がいるのかしらべてみよう】	NPO法人わおん	2年2クラス (54)	7/10	50
30	波田小	7 梓川大好き！大河の一滴プロジェク トスライドショー	合同会社リトルピークス	3年4クラス (137)	9/11	51
31	波田小	28 水殿ダムクラフトピクニック（ダム見 学付き）【上高地源流見学】	合同会社リトルピークス	3年4クラス (144)	9/20	52～54
32	波田小	36 体験として学ぶ「自然や環境」につ いて【自然の中で遊んで学ぼう！】	体験創庫かけはし	まつかぜクラ ス(特別支援 学級)(15)	11/1	55
33	二子小	20 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年2クラス (38)	7/1	56～57
34	二子小	12 木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (12)	7/25	58
35	二子小	9 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	4年2クラス (38)	11/5	59～60
36	二子小	8 ぬかかどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさと づくり応援団	3年2クラス (47)	11/11	61
37	芳川小	20 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年(117)	6/6	62
38	中山小	35 体感&体感！ 自然体験学習！！ 【ひみつきち作り 前編】	信州野外たいけん楽校ぶら す	3年(16)	10/21	63～64
39	中山小	35 体感&体感！ 自然体験学習！！ 【ひみつきち作り 後編】	信州野外たいけん楽校ぶら す	3年(16)	10/28	65～66
40	中山小	35 体感&体感！ 自然体験学習！！ 【ひみつきちとのお別れ】	信州野外たいけん楽校ぶら す	3年(16)	11/18	67～68
41	明善小	12 木材の活用方法（里山体験）【秋の さと山学習（きのことり）「かがや き」】	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (23)	10/28	69～70
42	明善小	12 木材の活用方法（里山体験） 【6学年秋の里山学習】	寿さと山くらぶ	6年3クラス (79)	9/30	71～72
計	17校（小学 校17校、中学校 その他0校）	22種類	14団体	2,365人 (小学校2,365人、中学校その他0人)		

※網掛け部分は海洋教育かつ環境教育支援事業に該当するもの

授 業 名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 1組	参加人数	30名
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和元年8月27日(火) 9月4日(水) の2日間		
講師名	小峰 邦良 先生(合同会社リトルピークス) 他3名		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「大河の一滴」 ・梓川での体験 ディフェンシブスイム 川の歩き方 アグレッシブスイム 		
実施状況 (授業風景)	<p>(1) 「大河の一滴」についての講義</p>  <p>○自分たちが近くで見ている梓川の上流の話から、水の行方について学ぶ。 ・水の大切さを考えることで、地球環境について考えた。</p> <p>(2) 梓川にて体験学習</p>  <p>○川に実際に入る前の注意事項の指導を受ける。</p>  <p>○ディフェンシブスイム 川での流され方 ・手足を上げラッコのような形になる。 ・頭は上流を向くようになるように動かすが、バタバタと動かさない。 ・足がつくところで静かに歩きながら立つ。</p>  <p>○川の歩き方 ・3、4人が縦になってしっかりと支えあいながら横に歩きながら上流のほうに歩く。 ・先頭の方は、水圧を直接受けるので力のある人が良い。後ろの方は前の人を押しすぎずしっかりと支えることが大事である。</p>		

	<p>○おぼれている人の助け方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロープを声をかけながら近くに投げる。  <p>○アグレッシブスイム 川遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石の上から少し深いところへ飛び込む体験をする。 ・飛び込んだ後は、岸までクロールで泳ぐ。
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川に入ることを、はじめは怖いと思っていたが、正しい方法を教えてもらったらだんだん楽しくなってきた。またやりたい。 ・川の流が結構強いことを初めて知ったので、これからは気を付けて川に入りたい。 ・水が冷たくて始めのうちは騒いでいたが、終わりのころには「もっともっと。」とほとんどの児童が口にするほどだった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段は川に入ることができないので、実際に川の水圧を体験したり、安全な川での過ごし方を学べたりしたことは、今後の人生の中でよい経験になったと思う。 ・環境教育だけでなく、指導員の方の体験話を聞くこともできたので、キャリア教育にもなったので良かった。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：1、2-2】

<p>授業名</p>	<p>梓川リバーアドベンチャー</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校 5年 2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>30名</p>
<p>担当者</p>	<p>矢嶋 泰介</p>	<p>記入者</p>	<p>矢嶋 泰介</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年9月4日(水) 9月5日(木) の2日間</p>		
<p>講師名</p>	<p>小峰 邦良 先生(合同会社リトルピークス) 他3名</p>		
<p>実施概要、実施状況 (授業風景)</p>	<p>【番号：1、2-1】と同様</p>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて川に入ってみると、水がとても冷たかったけど、やっていくとどんどん楽しくなった。 ・ラッコ泳ぎが最初緊張したけど、問題なくできた。 ・思っていたよりも流れがはやくて驚いた。またやりたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門の道具を使い、専門の方に教えていただいたことで、楽しみながらも真剣に学び、体験する子どもたちの姿が印象的だった。 ・子どもたちにとって、とても身近な梓川の新たな一面を知り、より自分たちの地域への理解が深まったように感じる。日記やふりかえりカードにもその気づきをたくさん書いていた。 		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：1、2-3】

授 業 名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 3組	参加人数	31名
担当者	小原 妙子	記入者	小原 妙子
実施日（期間）	令和元年8月27日(火) 9月4日(水) の2日間		
講師名	小峰 邦良 先生(合同会社リトルピークス) 他3名		
実施概要、実施状況 (授業風景)	【番号：1、2-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて川に入ってみると、水がとても冷たかったけど、やっていくとどんどん楽しくなった。 ラッコ泳ぎが最初緊張したけど、問題なくできた。 思っていたよりも流れがはやくて驚いた。またやりたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門の道具を使い、専門の方に教えていただいたことで、楽しみながらも真剣に学び、体験する子どもたちの姿が印象的だった。 子どもたちにとって、とても身近な梓川の新たな一面を知り、より自分たちの地域への理解が深まったように感じる。日記やふりかえりカードにもその気づきをたくさん書いていた。 		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：1、2-4】

授 業 名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 4組	参加人数	31名
担当者	久保田 朱音	記入者	久保田 朱音
実施日（期間）	令和元年8月27日(火) 9月4日(水) の2日間		
講師名	小峰 邦良 先生(合同会社リトルピークス) 他3名		
実施概要、実施状況 (授業風景)	【番号：1、2-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>川に流される体験をして、流されるのにもコツがあるなんて思わなかったです。やってみただけど、思っていたよりもとても難しかったです。飛びこみをしたときは、思っていたよりも深くてびっくりしました。さらに泳いでも泳いでも全然向こうに行かなくて川の流れは強いなあと思いました。とっても冷たくておどろきました。</p> <p>このように身をもって、川の危険さを体験することができ、川で遊ぶ際には、ライフジャケットなどを着用し、安全に遊びたいという感想がとても多かったです。</p>		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>地元の梓川の魅力を学ぶ良い機会になったと同時に、川で遊ぶときのポイントを、専門家の方々の様々な視点から学ぶことができ、とてもためになりました。今回の実践を家族や、友達にも広め、地元の梓川で安全に楽しく遊んでほしいなと思います。</p> <p>私自身、川での遊び方について学ぶことができ、いい機会になりました。ありがとうございました。</p>
--	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：1、2-5】

授業名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 5組	参加人数	30名
担当者	小林 僚	記入者	小林 僚
実施日（期間）	令和元年8月27日(火) 9月5日(木) の2日間		
講師名	小峰 邦良 先生(合同会社リトルピークス) 他3名		
実施概要、実施状況（授業風景）	【番号：1、2-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験して思ったことは、梓川は水がすごい冷たい。でも、冷たい方が気持ちよくて楽しかったです。やる前は、本当に浮くのか分かんなくて、少しやばそうと思ったけれど、本当に浮けたので、普通にできるようになりました。初めての川は成功だと思います。 ・温かいと思ったけど、めっちゃ冷たかった。流れが強くて、流されそうになりかけた。ラッコの泳ぎ方は、シューってなって気持ちよかった。3人か4人で、横にせーので息を合わせていくので感じたのは、一番前にいて、水の圧でどンドンおされて、流れの強い時は絶対に川に入らないようにしたい。 ・川で泳ぐことは怖いと思っていたけれど、体験してみたら意外にそこまで怖くありませんでした。3人組を作って、激流を歩いたことや川に飛びこんだことは怖かったけれど、先にやっている人をみたら、とても上手にできていました。私もできると思ってやったら、上手にできました。リバーアドベンチャーが体験できてよかったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の安曇小学校に引き続き、梓川小学校でも体験させていただきました。上流とは体験する内容が変わりましたが、安全面に配慮していただき、子どもたちも楽しく地元の川に入ることができました。 ・一緒に梓川についての学習も進めた所、上流の安曇3ダムのことを全く知らなかったり、泳ぐのには適していない川だと思っていたりとマイナス面のイメージがあったようです。しかしながら、この体験を通して、梓川を自慢の川だと言えるようになりたいとの思いを持つ子どもたちが出てくるなど、川遊びを体験することで、子どもたちの意識も変わってきたように思う。 		

<p>授 業 名</p>	<p>木の話とバウムクーヘン作り</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校 5年 1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>30名</p>
<p>担当者</p>	<p>守矢 久美</p>	<p>記入者</p>	<p>守矢 久美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年11月12日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>寿さと山クラブ 鈴木喜一郎</p>		
<p>実施概要</p>	<p>①木の話(年輪のでき方・木の種類についての説明) ②実習(バウムクーヘン作り) ③試食</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>①木の話(年輪のでき方・木の種類についての説明)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 輪切りになった木を班ごとに見ながら、年輪について学んだ。 ・ 年輪のでき方や、その時の気候、年輪の数え方を知ることができた。 ・ 自分たちから校地内や自分の家の木の様子について質問をしていた。 <p>②実習(バウムクーヘン作り)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ バウムクーヘンの材料(卵・砂糖・小麦粉・ホットケーキミックス)をケースに入れよく混ぜもとの液を作った。全員が卵を割る経験をしたが上手にでき喜んでいた。 ・ 竹の棒に、作った液をかけて焼いた。一回かけて焼くごとに年輪一年分と考え、10年分交代で焼いていった。 ・ 始めは講師の方が液をかけていたが、途中からかける方の体験もした。 <p>③試食</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 cm ぐらいの幅に切り分けた。(全員が体験をする) ・ 切ったときにかけてたところを試食したところ、焼き立てでとてもおいしく喜んでいた。 ・ 切ったバウムクーヘンを袋に分けて入れ持ち帰った。 		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪の太さで、この年は寒かったこの年は暑かったとかがわかるので木はすごいと思った。 ・リンゴの木のような選定を、普通の木もしていたのでびっくりした。 ・竹に生地を塗って地道に焼いていくと、あんなに美味しいバウムクーヘンができるので、地道にやることは価値があるんだなと思った。 ・しっとりとしていてとてもおいしかった。家の人に食べてもらったら喜んでくれた。 ・家庭科の授業でも生かしていきたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある木について子どもたちはあまり意識をして生活していない現状であるので、自然が豊かな梓川の地でこれからも生活していくためには、今回の授業は意識付けにとってもよかった。 ・バウムクーヘン作りは、楽しみながら学べるのでとても良い教材だった。 ・たくさんの講師の方に来ていただき、安全にできたのでありがたかった。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：3-2】

授 業 名	木の話とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 2組	参加人数	31名
担当者	矢嶋 泰介	記入者	矢嶋 泰介
実施日（期間）	令和元年11月12日（火）		
講師名	寿さと山クラブ 鈴木喜一郎		
実施概要、実施状況 （授業風景）	【番号：3-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪はその1年の気候などで色などが変わることが分かった。 ・木と木の葉に日光が当たらないといけなくて、間伐という作業をして、木と木の間をあけるということを学んだ。 ・年輪を作るために何回も繰り返して作るのが楽しかった。 ・卵などを溶いた生地を竹の上のせて落とさないようにはやく回すのが大変だった。 ・炭火で作ったので、食べてみたら炭の味がしておいしかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪について学び、年輪から当時の気候や様子が分かるという話に、子どもたちは興味津々でした。 ・年輪のでき方を学んでから作ったバウムクーヘンは、木が育っていくように大きくなっていき、「育ってる！」と子どもの言葉が聞こえてくるほど、木について学んだことを、体験を通して実感できるとても良い時間になったように感じました。 		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：3-3】

授 業 名	木の話とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 3組	参加人数	30名
担当者	小原 妙子	記入者	小原 妙子
実施日（期間）	令和元年11月12日（火）		
講師名	寿さと山クラブ 鈴木喜一郎		
実施概要、実施状況 （授業風景）	【番号：3-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪を見ると、その年の気候の特徴が分かることが分かった。 ・年輪を見ると、それまでの気候の様子が分かるのがすごいと思った。 ・実際に2500才の木があるなんて、すごいと思った。 ・今日は10才までのバウムクーヘンを作ったけど、売っているバウムクーヘンはもっと何回も生地を付けているので、作っている人たちは大変なんだなーと思った。 ・本当に年輪を作るように、生地を垂らして、垂れて落ちないように回して焦げ具合を見て、を繰り返して、お店ではどうやって作っているんだろうと思った。 ・同じことを何度も何度もやって疲れたけど、どんなことも一生懸命最後までやりぬくのが大事だと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>子どもたちが楽しそうに活動していました。バウムクーヘンづくりをとっても楽しみにしていましたが、実際に始まると木の話にも興味をもって聞くことができました。準備万端整えていただき、ありがとうございました。</p>		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：3-4】

授 業 名	木の話とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 4組	参加人数	31名
担当者	久保田 朱音	記入者	久保田 朱音
実施日（期間）	令和元年11月14日（木）		
講師名	寿さと山クラブ 鈴木喜一郎		
実施概要、実施状況 （授業風景）	【番号：3-1】と同様		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪が一年で地道にちょっとずつついていくと分かった。 ・恐竜時代の木の年輪を調べると、その時代の気候も分かることを知ったので、実際に調べてみたいと思った。 ・何層も何層も生地をぬって焼くと、木の年輪みたいになってすごかった。バウムクーヘンは2人で回さないと出来ないから「協力って大事」だと改めて思った。 ・お店で売っているバウムクーヘンよりも美味しかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の年輪について子どもたちは知らないことが多く、知識を得たことで年輪について更に調べたいという意欲的な姿が見られました。 ・年輪の勉強をした後に、自分たちで年輪に見立てたバウムクーヘンを作ることで、年輪の出来方も身をもって体験でき、協力することの大切さも学び、更に美味しく食べることができて、とても充実した時間を過ごすことができました。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：3-5】

授 業 名	木の話とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 5組	参加人数	31名
担当者	小林 僚	記入者	小林 僚
実施日（期間）	令和元年11月12日（火）		
講師名	寿さと山クラブ 鈴木喜一郎		
実施概要、実施状況 （授業風景）	【番号：3-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等（日記より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地を重ねて焼いていくと、厚くなって年輪のようになった。焼いた時によって、厚さや色がちがった。バウムクーヘンは、お店で売られているのだときれいな丸が多いが、私たちが竹で焼くと、ごつごつしていた。私は、バウムクーヘンでも木の年輪のことが試せると分かったので、これから調べてみたいと思った。（食べてみたら）お店にあるのよりも美味しいと感じた。 ・年輪は、一番小さい輪っかの所が1年と決まっておき、それが重ねられて1本の木になっていく。そして、1本、2本、…と行って、70本近くはありました。茶色がうすい時やこい時が分かったし、寒くてもやる大事な授業だと思いました。（食べてみたら）作っている時の周りのおいが入っていた感じでした。でも、世界一番美味しいバウムクーヘン！ <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか体験できないことをできました。子どもたちも作る前から楽しみにしていましたし、おうちの方からも「おいしいバウムクーヘンを家族でいただきました」と感想をいただきました。せっかく木の多い地域にいるので、身の回りに興味を持てるような体験を今後もしていけたらと思いました。 		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：4-1】

授 業 名	木材の活用法		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 2組	参加人数	31名
担当者	矢嶋 泰介	記入者	矢嶋 泰介
実施日（期間）	令和元年12月 3日（火）		
講師名	寿さと山クラブ 鈴木喜一郎		
実施概要	①木の種類や、木の実について ②実習		
実施概要、実施状況 （授業風景）	【番号：4-2】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で木を切るところから始めて、自分だけの特別なコースターができて嬉しかった。 ・（講師の）先生にのこぎりの使い方が上手だと言ってもらえてうれしかった。 ・松ぼっくりを使って、木に見えるように工夫をして、かざりを作ってみました。 ・紅葉の枝をモヤイ像の後ろに刺して飾ったら、森の中でヴァイオリンを弾いているみたいにきれいになった。 ・木を磨いていくと、触った感じがすべすべしていて気持ち良かった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方を丁寧に教えていただいたことで、安全に楽しく木材の加工について、学ぶことができました。 ・工夫をして作っていく中で、友だちの作品の工夫に触れ、新しいアイデアを持つことができた子が多く、「またやりたい」という感想を持った子がとてもたくさんいました。 ・技術的な面でサポートしていただき、子ども達が「自分たちでもできそうだ」と思えるくらい、作り方や道具の扱いについて身につけることができていました。今後の総合的な活動の中にもいかしていきたいと思えます。 		

授 業 名	木材の活用法		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 4組	参加人数	31名
担当者	久保田 朱音	記入者	久保田 朱音
実施日（期間）	令和元年12月 3日（火）		
講師名	寿さと山クラブ 鈴木喜一郎		
実施状況 (授業風景)	<p>①木の話 グループごとに分かれたところで、それぞれのグループが製作するものについて教えていただいた。その際に、使う木の名前や木の実の名前、匂いについても話していただいた。</p>  <p>②実習</p> <p>(1)コースター 1本の木をのこぎりで切り、やすりをかけて、コースターを作った。</p>  <p>(2)ブローチ・キーホルダー作り いろいろな木の形から好きなものを選びやすりで磨く。そこへ好きな絵をかき金具を取り付ける。</p>  <p>(3)印鑑・ペン立て作り 土台に乗せたい木の実を選び、ホットボンドで組み立てていく。</p>  <p>(4)置物作り 土台を選び、キットを使ってバイオリンを弾く人のオブジェを乗せる。空いたスペースにペン立てや木の実など好きなものをホットボンドで付けていく。</p> 		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木はペンダントやかざりものとしても活用されていると知ってびっくりした。お年寄りの人にも売ると買ってくれると聞いて、今度おばあちゃん達にも作ってあげたい。 ・木でも、工作できる木とできない木があると知った。木は色々な物に作ることができるけど、教科書にも「ヒノキが減っている。」と書いてあったので、貴重なものを使わせていただいてありがたかった。 ・木を家に置くと自然を感じるし、良いにおいの木もあって、とても良いと思った。自分の家にも木で作られた物などを使いたいと思った。早く、作品を作って、ぼ金したいと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>グループにランダムに分かれて作業したが、どのグループも、熱中しながら楽しく作業することができた。キットを用意していただいたり、丁寧に説明していただいたり、見通しをもちながら作業することができたので、時間内に見合うこともできた。</p> <p>子どもたちは木の魅力を再確認し、来年の総合の授業に向けて更に意欲が高まった。</p>
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：4-3】

授 業 名	木材の活用法		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 5組	参加人数	31名
担当者	小林 僚	記入者	小林 僚
実施日（期間）	令和元年12月 4日（水）		
講師名	寿さと山クラブ 鈴木喜一郎		
実施概要、実施状況 （授業風景）	【番号：4-2】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木を使ってコースターやはんこ入れに変わるのはすごいと思った。<u>工夫すればするほどいろいろな物が作れる</u>し、かざりなども自然な物を使っているから<u>「木は何でも作れるなあー」</u>と思った。 ・最初は少しむずかしかったけれど、<u>教えてくれた先生がやさしく教えてくれたからしっかり最後まで作れたし楽しめた</u>。木の形になやまされた。横もけずって形にこだわった。今後に使いたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>前回の「バウムクーヘン作り」に続いて、木材を使っているのも、子どもたちも意識の流れがあり、興味をもって学習を進めていました。木材という身近なものですが、切ったりくっつけたりすることで、一人一人の個性が輝いた素敵な作品ができました。グループに分かれて作り、その作り方を覚えておくことが今後の6年生に向けてのプロジェクトにつながっていけばと思います。</p>		

授 業 名	竹筒と蜜蝋を使ったキャンドル作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 1組	参加人数	30名
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和元年12月10日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎		
実施概要	①地球環境にやさしい生活について ②実習「蜜蝋と竹筒を使ったキャンドルづくり」		
実施状況 (授業風景)	①地球環境に優しい生活についての話 <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化を遅らせるために、自分たちでできること ・地球のためにできること・・・省エネ・エコ活動の勧め ・蜜蝋の使い方とその利用について ・竹の種類について  ②実習 <ul style="list-style-type: none"> ・キャンドルをいれる枠となる竹を適切な長さに切った。少し切り出してあったので切りやすかった。 ・中の蜜ろうの灯りが漏れるように、穴の大きさや配置を考えて、デザインをした。 ・ドリルを使って、デザインに基づいて穴を開けていった。  <ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ蜜蝋のろうそくを作った。 ・穴の周りにヤスリをかけたり、内側に色を塗ったりして、枠を仕上げた。 ・最後に、中にキャンドルを置くための受け皿を作って完成した。 		


授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の話や、自分たちがこれからどうしていくのかよいか分かった。 ・生活の中でエコ活動をしてみたい。 ・キャンドルづくり畑を切るのが楽しかった。また、ドリルで穴をあけるのが大変だったが、面白かった。 ・キャンドルナイトでは約ろうそくの光を見るのが楽しみだ。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定よりも、たくさんの講師の方に来ていただいたので、安全に楽しくできました。 ・安全に配慮して下準備をしていただいたのは、大変ありがたかったです。 ・5年生でも、電気ドリルを使うことができ良い体験になりました。 ・エコ活動のパンフレットがあり、今後の学習に役立ちます。ありがとうございました。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：5-2】

授 業 名	竹筒をつかったキャンドルづくり		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 5年 3組	参加人数	31名
担当者	小原 妙子	記入者	小原 妙子
実施日（期間）	令和元年12月10日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 e ネット中林 桐原		
実施概要、実施状況 （授業風景）	【番号：5-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がデザインした竹が完成して嬉しかった。 ・蜜蜂の巣からろうそくができるなんて、びっくりした。 ・はじめてドリルを使ってドキドキしたけど、うまく穴が開いて良かった。 ・竹を使ってキャンドルいれと蜜ろうのキャンドルを作れたし、地球のことについても勉強ができて良かったです。 ・ロウがミツバチの巣でできていることが凄いなあと思った。 ・竹に穴を開けるときにすこしぐらぐらしたけど、きれいに穴を開けられてよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太い竹や蜜ろうなど、普段接したことのない素材に触れることで、貴重な体験ができた。 ・電気ドリルの操作は児童には初めての経験だったが、多くのスタッフに来ていただき、安全に活動することができて、ありがたかった。 		


<p>授 業 名</p>	<p>上高地学習「上高地の水生昆虫の観察」</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校 1年生 2年生</p>	<p>参加人数</p>	<p>6名</p>
<p>担当者</p>	<p>片桐 義和</p>	<p>記入者</p>	<p>片桐 義和</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年9月9日（月）</p>		
<p>講師名</p>	<p>川の自然と文化研究所 山本雅道先生 吉田利夫先生</p>		
<p>実施概要</p>	<p>上高地、梓川の水中に住む生き物を水面や水中観察用のめがねで観察をし、どのような生き物がいるのかを知る。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="475 674 1002 1061" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="475 1061 1465 1133">観察に適した場所を探していただいているのを、橋の上から様子を見ながら、川の中を観察中。</p> <div data-bbox="475 1133 1035 1547" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="475 1547 1051 1585">水中観察用のめがねを使いながら水中を観察。</p> <div data-bbox="475 1621 1019 2029" data-label="Image"> </div>		




	<p>場所を少し移動して、梓川の直ぐ脇の石をのぞき込む。</p>  <p>直ぐ近くまでカモ寄ってきた。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋の上から泳いでいるイワナを見ることができました。とても早かったです。 ・川の中をのぞき込みましたが、全然見つかりませんでした。でも、大学の先生が見つけてくれて、ヒルがいました。他にもカゲロウやカワゲラがいました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の上から泳いでいる魚を見つけることはできても、水の中にある虫を見つけることは大変困難を伴うことを改めて感じました。上高地という特色を生かしながら、子どもたちにどのように学習させていくのか、まだまだ考えて行く必要を感じました。今回は、大学教授と一緒にいたこともあり、子どもたちは色々な生き物を見つけることができ、満足した様子だった。 ・今後、自分たちの生活の場の直ぐ近くに流れる梓川に学習の場を変えて、上流からのつながりを意識させていきたい。

環境教育支援事業実施報告書


【番号：7】

<p>授 業 名</p>	<p>「いきもの探しと観察及び環境教育講座」</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校 1・2年生</p>	<p>参加人数</p>	<p>6名</p>
<p>担当者</p>	<p>片桐義和 宮尾駿</p>	<p>記入者</p>	<p>片桐 義和</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年9月12日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>いきものみつけファーム in 松本推進協議会 藤村哲さん</p>		
<p>実施概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校から現地まで公用車で向かった。 2. みんなのゆめの森について説明を受けた。 3. みんなのゆめの森でいきもの探し&観察を行った。 4. 児童たちは講師の方へ感想を話した。 5. 公用車で小学校まで戻った。 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>現地に到着して準備</p>  <p>いきもの観察風景</p>  <p>講師の方と</p> 		

	<p>終わりの会・感想記入</p> 
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小さな川の中で虫をつかまえていたけど、最初は全然捕まえられませんでした。 ○石を網に入れて、石を洗えばくっついている虫が捕まえることができました。 ○水の中にはカゲロウみたいな生き物がいました。もっとたくさん遊びたかったです。でもとても楽しかったです。 ○水の中の石や土の中のところに虫がいました。ウーパールーパーみたいな虫やエビみたいな虫、クモ見たいなものもいました。たくさん見つけられて楽しかったです。 ○次はもうちょっと大きい虫もつかまえてみたいと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>子ども達がいきいきといきものに触れていて良かった。</p> <p>低学年なので、知識よりもまずはいきもの（動物も植物も）に触れてみることや、探して見つける喜びを持ってもらえるように促したことが効果を生んだように感じている。</p>

授 業 名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 3学年、4学年、5学年	参加人数	11名
担当者	3学年担任：小池加純 4学年担任：桑山美冴 5学年担任：早淵明子	記入者	早淵 明子
実施日（期間）	令和元年9月17日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス（代表：小峰邦良さん）		
実施概要	<p>① 講義「大河の一滴」（パワーポイントを用いて、婦負用は梓川6.5kmの旅）を教室で聴き、川の働きや水の流れについて学習した。</p> <p>② 梓川支流の楯川にて、シャワークライミングや岩登り、滝壺潜り等をして川遊びを楽しんだ。</p> <p>③ 梓川まで出た後、川でおぼれた時の対応や川におぼれた人への救助法等を体験学習した。</p> <p>④ 水深がかなり深くなる所を列になって歩き、島々谷川の遡上体験を行って帰校した。</p>		
実施状況 （授業風景）	  	<p>流れる川に対して、二人一組になって、川を横断しました。縦一列になって横歩きで渡ります。前列が盾になり、後列は前列が倒れないようにささえます。一人だと流されてしまい歩けない川も、このような方法で渡れることを知りました。</p> <p>水生生物も見つけました。川の中を歩くことになっていないので、歩くだけで精一杯だったのですが、水生生物も見つけることができました。カワゲラの仲間で綺麗な川にしか生息していないそうです。</p> <p>川でおぼれている人をどのように助ければいいのか、救助法を実際に示してくれています。何か浮かぶものを括り付けたロープを川の上流へ向けて投げます。ラッコのように抱きかかえると体力を消費することなく、救助されることを知りました。</p>	

	 <p>滝壺へ飛び込んだ後の記念撮影です。泳ぐのが苦手な子も怖いと言っていましたが、みんなが楽しそうに飛び込んでいるのを見たら、全員飛び込むことができました。その直後の笑顔の一枚です。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川を歩いたり、滝へ飛び込んだり、今までやったことがなかったから、川の水は冷たかったけれど、だんだん平気になって、とても楽しかった。 ・川を泳ぐのは、大変だった。川を横切ろうとしたけれど、まっすぐに泳いでも流されてしまい、ななめ前に泳いでいくのが大変だった。 ・水が深いところを泳ぐのは、足がつかなくて、とても怖かったけれど、泳ぎ切れて嬉しかった。 ・川でおぼれている人を助けるときは、先へ行って声をかけてあげればよいことがわかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>学校の目の前を流れている川だけれど、川は危ないから近くで遊んではいけないという指導をしてきた。しかし正しい知識を持って体験することは、子どもたちにとっても教師にとっても有意義な体験になった。自分の身の回りにこんな楽しめる自然があること、特に安曇小学校は三つの川に囲まれている誇れる場所であると知ったことは、子どもたちの地域に対する誇りになったと思う。</p> <p>梓川を見るだけでなく、実際に川の中に入り体験したことにより、上高地学習への理解を深めることにも繋がった。この体験と併行して、上高地から流れてくる梓川について、河原の石を通して梓川の成り立ちについて調べたり、梓川が流れ込む大正池の浚渫工事の見学をしたり、水殿ダムのレストランで安曇のダムについて学んだり、年間を通して川について学ぶことができた。</p>

<p>授 業 名</p>	<p>水殿ダムクラフトピクニック</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校 5 学年、6 学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>8 名</p>
<p>担当者</p>	<p>5 学年担任：早淵 明子 6 学年担任：横山 亨司</p>	<p>記入者</p>	<p>早淵 明子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年10月23日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス（代表：小峰邦良さん）</p>		
<p>実施概要</p>	<p>①ゴムボートを膨らませ、川へ運び込んだ。消防が台風19号で浸水した地域への救助用ボートも同様のボートが使用されている。エンジン付きボートとは違い、スクリューが故障することがないことから、近年活用されている話などを聞いた。</p> <p>②ボートを漕ぐ練習。前進、後進のオールの操作方法を学ぶ。また、転覆したときを想定してボートからダムへ飛び込んで、ボートへ戻る体験をする。</p> <p>③水殿ダムから奈川ダムまで約2 kmをボートで漕いでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無人島に行き、岩場から飛び込む。 ・滝が流れ落ちるところまで行き、滝の落ちる水を浴びる。 ・流木へあるところでは、流木の上に乗る。 ・チームで、ボートレースをする。 <p>④ダムに沈んだ旧国道跡を見に行く。車一台通れるくらいの細い道で、途中から水の底に沈んでいた。自分たちが日頃使っている拡張された国道は、ダム建設の条件だということ学んだ。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>ボートを自分たちで膨らませています。みんなで協力して、2台のボートを膨らませました。膨らませながら、台風19号の浸水で救助ボートを消防などへ貸し出したこともあることを教えてもらいました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>2 kmの距離をボートで漕ぎます。初めは楽しいだけだったけれど、漕ぎ続けていると疲れてしまい、ガイドの方がオール一本で漕いでくれ、プロの技も見せてもらいました。</p> </div> </div>		

	 <p>流木に子どもたちが飛び移っている様子です。流木はつるつるして、くるくる回るので、必死に捕まっています。この後上手に乗れて、流木の上を歩くことも出来ました。</p>  <p>これはダムからしか見えない幻の滝だそうです。10mくらい高いところから流れ落ちている滝の下へボートで向かっています。水の逆流で辿り付くのも大変だったけれど、それ以上に滝の水が強くて冷たくて大変でした。</p>  <p>旧国道の様子です。道がダムの水底に沈んでしまっている様子を見ました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムに入ったことがなかったので、ふつう入れるところではないので、とても貴重な体験になった。 ・ボートを漕ぐのは大変だったけれど、みんなで力を合わせたからレースにも勝てたし、とても楽しかった。 ・ダムのことなんて考えたことがなかったけれど、ダムの下には昔家があったのだと知った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>ダムのラフトピクニックは12年間かけてリトルピークスさんが交渉して、今年から実施できるようになったと聞いた。安曇には、こんなに豊かな自然があり、地元の子どもたちすら知らない魅力がまだたくさんあることを、彼らも体験を通して知り、地域への愛情や誇りに繋がった。</p> <p>楽しさだけでなく、ダムの歴史についても、知る機会がない中で、今回ダムについて子どもたちが関心を向けられたことは今後の学習にも生きてくると思われる。</p>

環境教育支援事業実施報告書

【番号：10】

授業名	自然体感プログラム		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 1・2年生	参加人数	6名
担当者	片桐義和 宮尾俊	記入者	片桐 義和
実施日（期間）	令和元年10月23日（水）		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇 山田 直美		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の周りで動植物に関わるフィールドビンゴを行い、当てはまるものを探し歩いた。 ・拡大鏡を使ってフィールドビンゴで見つけたものや近くにある植物や虫を観察した。 ・指定された色の自然物を探し歩いた。 ・自然物を使った万華鏡を作った。 		
実施状況 (授業風景)		<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドビンゴで色々なものを探そう 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・拡大鏡で小さなものを観察しよう 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・同じ色の自然物を探そう 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・色々入れて万華鏡を作ろう 	

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめはフィールドビンゴに当てはまるものを見つけるのに苦労していましたが段々と積極的に探し歩いて見つけるようになってきました。また、触ったり、手に取ったりする姿も段々と見られるようになってきて時間が経つにつれて近くの自然と触れ合うことが増えているようでした。 ・同じ色の自然物を見つけることがとても大変だった。特に、緑色と全く同じ色を見つけるのが1番大変でした。 ・万華鏡に花や葉っぱを入れたら、かわいい模様になったり、おもしろい模様になったり、不思議な模様になったりしました。ピンクの花を入れたらきれいな模様ことができました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの視野が段々と狭まっていき小さなものを見つける目になっていくのを感じました。普段授業で使っている校庭の脇で小さな虫がたくさんいたり、きれいな植物があったりすることに気づくことができました。今回の活動をすることで休み時間などに校庭の周りで自然と触れ合いながら遊ぶ活動に発展して行ってほしいと感じる。
---------------	---



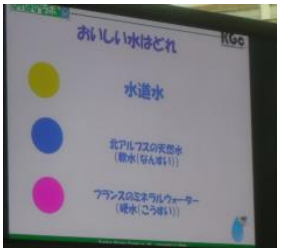
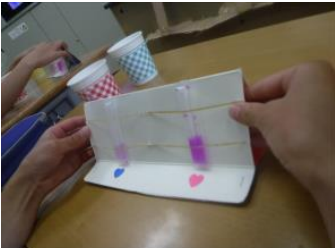
環境教育支援事業実施報告書

【番号：11】





授 業 名	身近な自然観察		
学校名、学年、学級	今井小学校 1年1組	参加人数	24名
担当者	1年1組担任 後藤 真由美	記入者	後藤 真由美
実施日（期間）	令和元年10月3日（木） 9：30～11：30		
講師名	自然観察の会 「ひこばえ」		
実施概要	<p>【今井小学校の学習公園で、「秋をさがそう」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内にある秋の植物を紹介してもらう。 植物の名前、何の種かなどクイズ的にしていただく。 ・それらの植物、種がどこにあるかを探す。 ・生き物を探す。 ・木の実を使ったレクリエーションを行う。 		
実施状況 (授業風景)	 <p>「これは何でしょう。」</p>	 <p>「どこにあるか探してみよう。」</p>	
	 <p>「これ、そう？」</p>	 <p>「どんぐりを早く回そう。」</p>	

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさがおのつるで作ったリースにつける栗、どんぐり、まつぼっくりなどを集めて楽しかった。 ・どこにあるかなかなか分からなかったけど、友達が教えてくれて嬉しかった。 ・鳥の羽が落ちていて、びっくりした。 ・いろんな物を見せてもらって、楽しかった。 ・知らないことがわかって、よかった。 ・まつぼっくりの種のとびかたの折り紙が楽しかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>ひこばえの方が「さすが、今井の子」と驚くほど、木の実の名称やそのつくりについて、よく知っていた。保育園の頃にもここにはよく散歩に来ているが、まだまだ知らない植物があり、興味を持って話を聞くことができた。</p> <p>学校にも、いろいろなまつぼっくりや木の実があり、休み時間に集めてリースにつける姿があった。</p> <p>学校にないと思っていた「ばらぼっくり」が南庭にあり、教室にたくさんばらぼっくりが集まった。そこから、折り紙でばらを作る活動につながった。</p> <p>「栗は、なぜ実の中から虫が出てくるのか。」「きささげという植物の名前の由来は。」など、大人が聞いてもためになる話だった。</p> <p>3 その他</p> <p>例年この時期に観察会を実施しているが、今年は暖冬のためか例年より秋の訪れが遅く、木の実が少なかった。</p>
---------------	---

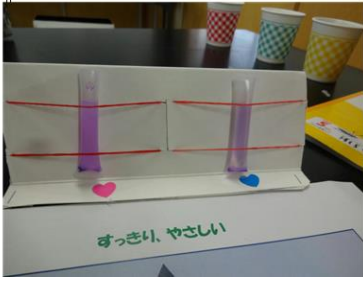
授 業 名	外あそびの達人講座		
学校名、学年、学級	松本市立大野川小学校 1, 2年	参加人数	7名
担当者	奥原由里、山崎旅夢	記入者	奥原由里
実施日（期間）	令和元年6月20日（木）		
講師名	NPO 法人わおん 山田勇さん、山田直美さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ロープの結び方を学ぶ。 ・自分でハンモックを木に取り付けて寝てみる。 ・木につけていただいたブランコに乗ってみる。 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ロープの結び方を覚えたよ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高い木にブランコを作ってもらったよ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>スラッグラインは難しいけれど楽しいな</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自分でハンモックを吊せた！</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でロープを結んでハンモックができてよかった。 ・ブランコにもっと乗りたかった。 ・またやりたい。 ・児童数が少ないので、一人に一つずつハンモックを用意していただくことができた。子どもたちも大喜びでハンモックに寝たり座ったりしていた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校地内に広い林があり、それを生かした活動をしたかった。私たちだけでは難しいことも、道具もスキルも持っていらっしゃるプロの方々のおかげで実践することができ、とてもありがたかった。 ・児童がのびのびと活動できるように配慮してくださり、嬉しかった。 		

<p>授業名</p>	<p>水はどこから？</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立大野川小学校3年</p>	<p>参加人数</p>	<p>2名</p>
<p>担当者</p>	<p>横山 文香</p>	<p>記入者</p>	<p>横山 文香</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年7月17日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>環境技術センター</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを見たり、実験をしたりして水はどこから来て、どこへいくのか、水のしくみを知る。 ・かわいている土と、湿っている土では水の浸透する量に違いが出ることを実験を通して体感する。 ・水道水、アルプスの水、フランスの水を飲み比べて味の違いを体感する。 ・水の硬度を調べて、硬度の違いで味にも違いが出ることを知る。 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>実験装置を使って、水が蒸発して雲になり、その雲から雨が降り、地上にもどってくる仕組みを目で確かめることができました。</p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p>パワーポイントで学習した水の流れを、実験を通してリアルに体感することができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p>↑乾燥しているスポンジと湿っているスポンジを使って、水が浸透していく様子を実験しました。乾燥しているスポンジは水を通さずにどんどん流れてしまうのに対して、湿っているスポンジはスポンジを通して地下へと流れ出ている様子を確認でき、土の保水力を体感できました。</p> <p>↑水道水と、アルプスの水と、フランスの水の3つを飲み比べてみました。違いが分かるかなと思っていましたが、3つとも全然味が違って驚きでした。 また、実験によって水の硬度を確認し、硬度が生まれる理由や、硬度の違いによって味にも影響が出てくることを知ることができました。</p>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・何億年も前の水が巡り巡って自分達のもとに流れついていることに驚いた。 ・あたりまえのように使っていた水がとても貴重なものであることが分かりました。 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで丁寧に学習したあとに、その知識をもとにした実験をさせていただいたので、学習の定着にもなったし、子どもたちの学習への意欲もどんどん高まっていきました。 ・実際に水を用意していただいて、飲み比べたことで、自分達がいかにおいしい水を普段飲んでいるのかを実感できました。 ・とても丁寧に説明していただけてわかりやすかったです。 		

<p>授 業 名</p>	<p>乗鞍さんぽ</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立大野川小学校 1, 2年</p>	<p>参加人数</p>	<p>7名</p>
<p>担当者</p>	<p>奥原由里、山崎旅夢</p>	<p>記入者</p>	<p>奥原由里</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年10月24日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>リトルピークス 小峰邦良さん</p>		
<p>実施概要</p>	<p>乗鞍高原を歩きながら、秋の自然を楽しむ。 ・見つけた植物の名前や見分け方などを知る。 ・自然の中で遊びながら、工作に使う落ち葉や木の実を集める。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>乗鞍のこと、 どれくらい知ってるかな？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ユーモアたっぷりのお話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大カエデ カエデって、カエルの手っていう意味だよ。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>木に登れた！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>これは何かな？</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩きながら、周りをよくみていた。気になる物を見つけては、講師の方に名前を尋ねていた。 ・木に登ることができて、とても嬉しそうだった。 ・きのこを見つけることが、とてもたのしそうだった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童にわかりやすい言葉で、ユーモアを交ぜながらお話しして下さった。講師の方とのコミュニケーションも楽しみながら、安心して活動することができた。 ・こういう活動がしたい、ということをお伝えしたら、それに合わせた場所やルート選択もしていただき、大変ありがたかった。 ・児童がのびのびと活動できるように、場所や時間を配慮して下さり、嬉しかった。 		

<p>授 業 名</p>	<p>石窯ピザ作り体験をしよう</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>岡田小学校あさひ分校 3～6年生</p>	<p>参加人数</p>	<p>11名</p>
<p>担当者</p>	<p>小林雅子</p>	<p>記入者</p>	<p>小林雅子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年7月4日（木）午後1：15～3：00</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人石窯スマイル研究会 桐原 眞幸</p>		
<p>実施概要</p>	<p>「石窯体験テキスト」をいただき、エネルギーや環境課題、石窯の原理や石窯料理について教えていただいた。薪を燃やし釜の温度を測り、班ごとにピザ生地を伸ばしトッピング材料を選び、石窯の中で焼いた。炎のエネルギーを実感し、チームの仲間で協力してピザ料理を作って食べた。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>生地をのばして。なかなか伸びない… 何をのせようかな？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>石窯で焼くってはじめて体験しました。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>けっこう硬い。うまく切れたよ</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで食べられなかった食材が食べられるようになった。 ・上手だと褒められてうれしかった。 ・ピザ職人に将来なりたいという声もあった。 ・石窯スマイル研究会の皆さんに準備していただいたり教えていただいたりと手厚く支えていただけたことがうれしかったようで、最後の場面では半数以上の児童が感想を伝えることができた。 <p>2 先生方の感想 要望等</p> <p>公共の施設とは違い、桐原さん個人のお宅にお世話になると言うことで、より丁寧なマナーが必要であることも意識し活動することができました。ピザ作りだけでなく、畑を見させていただいたり、温度の違いを測らせていただいたり時間いっぱい様々な体験をさせていただきました。丁寧に打ち合わせ等させていただいていたので子どもたちに合った内容で進めさせていただけたため、全員が不安を感じることなく、満足感いっぱいでした。社会経験の少ない子どもたちにとっても良い活動でした。ありがたかったです。石窯スマイル研究会の皆さんのお心遣いに感謝いたします。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>水のゆくえ</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立鎌田小学校 4学年 1～5組</p>	<p>参加人数</p>	<p>167人</p>
<p>担当者</p>	<p>学年主任 竹平 三枝子</p>	<p>記入者</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年8月28日（火）30日（金） 9月4日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>環境技術センター 宮澤 恵美さん他1名</p>		
<p>実施概要</p>	<p>「私たちの暮らしと水」の学習の中で、浄水場や浄化センターを見学して水の大切さを実感しつつある児童に、水の大循環や水を守るための森の働きを専門家の話や実験を通して実感させる。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   <p data-bbox="491 1037 1461 1106">「地球の水の奇跡」「松本の川、源はどこ？どこへ行く？」をパワーポイントで説明していただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;">   </div> <p data-bbox="491 1435 1461 1505">「水を育む森」の実験。乾いたスポンジと湿ったスポンジを使って森の土が水をため地下水を作っている様子を観察しました。</p> <p data-bbox="491 1512 1461 1581">「地球をめぐる水」海水が水蒸気となり雲になり雨になり地下水となり川に流れ込んでいく様子を模型に自分たちで書き込みながら学習しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;">   </div> <p data-bbox="491 1906 1461 2011">「おいしい水はどれ？」3種類の水を飲み比べました。①水道水②アルプスの天然水③硬水「すっきり、やさしい」「しぶい・にがい」「匂いがしない」などそれぞれの水の特徴を話し合いました。</p> </div>		

	 <p>それぞれの水の違いを視覚でも確認することができました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山も水と関係があることがとてもよくわかりました。 ○地球が生き物が住むのにとってもいいのは、水のおかげなんだということがよくわかりました。 ○土はなんでも水を吸うと思っていたけど、湿ったスポンジと乾いたスポンジの実験で水を流してみたら、乾いている方はスーッと表面の水が流れて行ってびっくりしました。 ○水はすごく前からあってその水を今もそして未来も使うことがわかりました。 ○外国の水と日本の水で味が全然違ってびっくりしました。 ○土の中の生物も私たち人間が使う水も全部循環していることにびっくりしました。 ○水道の蛇口から出る水を飲める国は10～15カ国しかないと聞いてびっくりしました。水をきれいにするにはたくさんお金がかかることもわかりました。 ○奇跡の星地球に生まれてよかったです。 ☆僕たちが使うことのできる水の量は0.01%しかないの、とても大切にしていきたいです。そして、僕たちは災害に合わないよう森や林を大切にしたり、増やしていったりしたいと思いました。 ☆水のためにも森を大切にしたいと思いました。 ☆今、海水の温度が上がってサンゴなどが死んでしまっていることがわかりました。自分たちのできることを考えたいです。 ☆水はとても大切です。無駄使いをしないようにしたいと思いました。 ☆私たちも水を守っていききたいと思いました。 ☆地球に水が生まれた奇跡を知り、私たちももっともっと未来の人に日本のおいしい水を飲んでもらえるよう水を守ることができればいいと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習で「水のゆくえ」について学習していたので、授業内容以外の質問に答えていただけありがたかったです。 ・実験や自分の味覚を通して学習できたことは、子どもたちにとっても良かったと思います。

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバームクーヘン作り</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立四賀小学校3年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>21名</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 柳沢 準二教諭</p>	<p>記入者</p>	<p>柳沢 準二</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年10月23日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>寿さとやまクラブ事務局長 鈴木喜一郎さん</p>		
<p>実施概要</p>	<p>・木の切り株を使って、年輪を数えたり、年輪ができる意味を考えたりした。 ・年輪のできるしくみを理解したうえで、野外バームクーヘンづくりをした。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>木の年輪はどうやってできるのかな</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>1年目をつくろう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>10歳になったよ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「年輪見えた。おいそー。」</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ○年輪が1年でひとつの輪になることを初めて知りました。 ○バームクーヘンづくりは、熱くて煙くて大変だったけど、年輪が増えていくことがよくわかって、どんどん太くなるのが楽しかったです。 ○思った通り、とてもおいしくできました。外でバームクーヘンできでも楽しかったです。家でもやりたいです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等 ○四賀地区は、たくさんの森林に囲まれています。知っているようで知らない木の年輪のことに楽しく印象に残る方法で授業をしていただき、貴重な体験となりました。毎年、3学年で継続して実施していますが、来年もとりたいです。</p>		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：18】

<p>授 業 名</p>	<p>堰の生き物、全員集合！！</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>島内小学校 3学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>119名</p>
<p>担当者</p>	<p>上條数子、三村小百合 布山幸裕、小淵敏行</p>	<p>記入者</p>	<p>三村 小百合</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年 9月3日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>㈱環境技術センター 味澤伸輔様、宮澤恵美様 NPO法人川の自然と文化研究所 山本雅道様、吉田理男様</p>		
<p>実施概要</p>	<p>・車屋堰で見られる生き物について、自分たちで採集したり、講師の方が採集したりしたものについて、その生き物について講師の方に聞いたり観察したりしながら、活動した。 ・ふり返りの活動では、車屋堰で見られた生き物について、自分たちの感じたことを踏まえながら、自分たちの図鑑を作ることで、より学びを深めた</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>←最初は堰の土手から活動を始めた。各自、網とバットを手にし、すくっていった。最初はヨコエビがたくさんとれていた。だんだんと、「ほかの生き物もついでないかな」と、もっと種類をたくさん発見したい、という意欲が高まり、徐々に活動場所を広げていった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>慣れてきたので、いよいよ深さのある堰のほうへ移動後、入ってみた。</p> <p>「ドジョウが取れたよ」 「カキドジョウだって！大きくてすごいやつだよ！見て」 自分たちの採った生き物を講師の方や担任に嬉しそうに見せたり、名前を聞きにいったらバットに移したりと、意欲的に採集活動に取り組んだ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>←メダカを採ったRさん。 「よくメダカを採ったね」「これはどう見てもメダカだな」と驚く講師の方々を見て、「ぼくすごいの、とっちゃった」と、嬉しそうにニコニコしていた。 しばらく眺めたり講師の方にいろいろ聞いたりしていた。</p> <p>採集後は、採ってきた生き物を並べて、講師の方に聞いたり質問をしたりする時間をとった。自分たちの採った生き物に興味津々らしく、自分たちからたくさん質問をし、難しい名前も何度も聞きながら覚えようとしていた。その後「きれいな所にしか住めない</p> </div> </div> </div>		

から」という講師の方々の言葉に納得し、「またね」「さようなら」と声を掛けながら、やさしく堰へ戻してあげることができていた。(下の写真)



活動のまとめとして自分たちが見たり触ったり、聞いたりしたことを残しておきたい、という気持ちと、もう少し調べておきたいという気持ちがあったので、クラスでもう少し調べて、オリジナルの図鑑を作りしばらく掲示することにした。さらに他の堰も調べて図鑑にして、校内にも飾ってみたいという願いが出てきている。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- どの子ども大喜びで水の中に入り、時間いっぱい生き物採集を楽しんでいた。
- 知らない生き物がいっぱいいたけど、おもしろい動きをするものとか、珍しい生き物とかも採れて、嬉しかった。
- 時間が短かった、もっとやりたかった。
- 専門の先生に教えてもらってすごく勉強になったし嬉しかった。普段消極的な子が、自分から進んで講師の方に聞きにいたり、抵抗を示していた子たちが自分から水の中に入っていたりと、活動に夢中になっている姿が見られた。

2 先生方の感想、要望等

子どもたちにとっても職員にとっても、とても楽しく活動でき大変ありがたかった。子どもたちはまた自分たちの見ていないほうの堰にも行って、いろいろな生き物について詳しく知りたいという願いを持っている。可能ならばまた講師の方々をお願いして、今回のような活動をしたところだが、予算的な関係で2度、3度ということができないのが残念に思う。また、機会があったら計画したい。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：19】

授 業 名	「草花をさがそう～かんさつ名人になろう」		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 2学年 3学級	参加人数	100名
担当者	名取 砂由美	記入者	名取 砂由美
実施日（期間）	令和元年6月19日（水）		
講師名	自然観察の会 ひこばえ 村上さよ子さん		
実施概要	① 校舎の周りの樹木の観察 ② 松ぼっくりの観察 ③ 砂場の観察（すずめの砂浴び）		
実施状況 （授業風景）	① 樹木の名前の由来 「裨纏の形に似ているのでハンテンボク」 「チューリップにも似ているね」 「ユリノキという言い方もあるよ」 「同じ木なのに、いろいろな言い方があるんだ」 ② 樹木の実のつく時期 「ほんとだ、小さい松ぼっくりができています」 秋に落ちて拾う松ぼっくりも6月のこの時期に出来始める ことを教えてもらいました。日常では見逃しているもの も じっくり観察すると見えてくることを実感した子どもたち。 ③ 砂場の穴の不思議 「だれが穴を作っているんだと思う？」「すずめだよ。」「みんながプールに入るように、すずめは砂あびをしているんだよ。」 自然界の中での野鳥の行動を観察していくポイントの一つを教わることが出来ました。	  	
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ木なのに、特長によっていろいろな名前が変わるのでびっくりした。（ハンテンボク⇒チューリップツリー⇒ユリノキ） ・ 夏にもうすでに小さな松ぼっくりの赤ちゃんが出来ているんだ。よく見てみるって大事。（ヒマラヤスギ） ・ ただの穴（砂場）じゃないんだ。意味があるんだ。（すずめの砂浴び） 2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然への関わらせ方の具体を教えていただけ、今後の生活科の指導の参考になりました。 ・ 樹木、実、草花、鳥など様々な切り口での自然観察の仕方を教えていただけ、自分たちも勉強になりました。 ・ 子どもたちが興味深く自然観察に夢中になり、あっという間の1時間でした。今回は1時間単位でしたが、2時間単位でゆっくり計画しても良かったと感じました。 		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：20】

<p>授 業 名</p>	<p>自然素材を使って簡単工作</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立菅野小学校 2学年 3学級</p>	<p>参加人数</p>	<p>100名</p>
<p>担当者</p>	<p>名取 砂由美</p>	<p>記入者</p>	<p>名取 砂由美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年9月18日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO わおん （山田勇さん、直美さん）</p>		
<p>実施概要</p>	<p>50年前創立当時に植えられた校庭の桜の木が、50周年を期に植え替えとなり、そのときに伐採された枝(自然素材)を利用して、キーホルダー作りを行った。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: row;"> <div style="flex: 1;">     </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>はじめに、講師の山田さんより内容の説明をしていただきました。 「50歳の桜の木を、紙やすりを使ってきれいに磨くよ。」 聞いただけでは、イメージはわからないはずだからと早速輪切りを配り、 「裏と表で触った感じが違うから確かめて。」 五感を磨くことの大切さを伝えられました。 「ほんとだ、ぜんぜんちがう。」 「すべすべだ。」 手順を端的に説明していただき、紙やすりが配られると、夢中で磨き始めた子どもたちでした。</p> <p>つるつるになるまで、磨き上げる子どもたちに、山田さんが「いいねえ。」「すごいね。」と声かけをされ、益々熱心に磨こうとする子どもたちでした。</p> <p>「磨いていくと、木の香りが強くなるよ。」と山田さんが話されると、木の香りをかぎ、「ほんとだ。いいにおい。」 「木のにおいがする。」 と、さらに磨き上げようとする子どもたちでした。</p> <p>最後に紐を通して出来上がりです。この紐を結ぶというのも、細かい作業なため、2年生には大変に感じる子どもも少なくありません。それでもブンブンゴマで紐を結んだ経験を生かしながらこちらも丁寧に仕上げました。 仕上がりに大満足で、講師の方と記念写真を最後に撮りました。早速、大事そうに持ち帰って行った子どもたちです。</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;">  </div> </div>		

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等



- 紙やすりでみがくと、こんなにつるつるになるんだ。
- 紙やすりでみがくの面白い。
- 桜の木だから、記念にさくら描こう。
- 学校の桜なので、記念に学校のマーク(校章)描こう。
- 令和元年に作ったから、令和って描こう。
- いい記念になった。
- 磨くのは大変だったけど、簡単にできたから楽しかった。

2 先生方の感想、要望等

- 学校の桜の枝という身近な自然素材を、輪切りに加工し、2年生の子どもたちでも簡単に工作の楽しさを味わえるように、2種類の紙やすりを準備していただけてありがたかったです。
- ポスカや紐の準備も含め、手順もシンプルに1時間の授業の中で展開していただき、短い時間の中で十分楽しみながら学習することが出来ました。
- 丁寧に桜の木の輪切りや穴あけ、彩色用のポスカや紐などもご準備いただき、どのクラスも集中して学習に取り組めました。
- 身近な素材を活用しているため、興味も広がっていたこと、2種類の紙やすりで丁寧に磨いていくことで、手触りがどんどん変わっていくことを実感したり、木の香りを感じたりと自然の良さを工作活動を通して体感できるプログラムでした。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：21】

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 特別支援学級1～6年児童 たんぼぼ1・2組、 あおぞら1・2・3組	参加人数	35名
担当者	担任 松下篤、平沼公恵、 赤羽良文、遠藤優子、 平出絵里	記入者	赤羽良文
実施日（期間）	令和元年10月1日（火） 9：40～11：35		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎さん 他3名		
実施概要	1. 木の年輪などの話 2. 炭火を使って材料からバウムクーヘン作り		
実施状況 (授業風景)	<p>木の年輪などの話</p>  <p>足を開くと倒れないことから、根が広がっていることを体感できた。</p> <p>炭火を使って材料からバウムクーヘン作り</p>  <p>材料をかき混ぜたい子どもに交代することができた。</p>		



順番を守り、2人で協力して焼くことができた。
子どもたちは教えたり教わったり関わり合えた。



だんだん太くなり、繰り返し作業したことに満足できた。



煙い中、熱い中、友達と協力して頑張って作ったので、とてもおいしかった。






授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・調理活動で、どの子も興味を持ち、生き生きと楽しんで活動していた。
- ・昨年度も行ったので子どもたちは教えたり教わったり関わる事ができた。
- ・自分たちで協力して作ったバウムクーヘンは、とてもおいしかった。

2 先生方の感想、要望等



- ・指導して下さる講師の先生が手際よく、順調に進められてよかった。
- ・昨年度行っている子どもは、次の活動が分かり、進んで活動できた。

<p>授 業 名</p>	<p>自然体感プログラム</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立菅野小学校 2学年 3学級</p>	<p>参加人数</p>	<p>100名</p>
<p>担当者</p>	<p>名取 砂由美</p>	<p>記入者</p>	<p>名取 砂由美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年10月28日（月）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO わおん（山田勇さん、直美さん）</p>		
<p>実施概要</p>	<p>① 自然の中で同じ色を探そう。 ② 万華鏡づくり</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: row;"> <div style="flex: 1;">     </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>【自然の中で同じ色を探そう】</p> <p>はじめに、講師の山田さんより、色カードが配布され、「周りで同じ色を見つけてごらん。」と投げかけてもらいました。</p> <p>「あの木（ヒマラヤスギ）の色は？」「緑」 「でも、全部同じ？」「黄緑もある。」 そこで、色カードの確認です。</p> <p>「これは？」「緑」 「じゃあ、こっちは？」「黄緑」 「同じ色あるかな。」夢中で葉っぱや石など見つけました。</p> <p>「黄土色もありそう。」「ネコジャラシが同じだ。」 「青がない・・・」</p> <p>遊具の色とも違う伝統色の青だけに、南庭になかなかなく、困っていると、「見回してご覧」と山田さんよりアドバイス。ぐらりと見回して「空」「あ、山の色」「いいねえ。」と遠くにも同じ色を見つけました。</p> <p>【万華鏡づくり】</p> <p>色の関心が高まったところで、山田さんから「この集めた葉っぱとかで万華鏡を作ろう」と提案されると、ワクワク感がさらにアップでした。ペアにキットが配布され、早速、レンズの中に入れていく子どもたち。「うわあ、きれい」</p> <p>「見てみて！」と葉っぱをちぎって出来上がると、次々に山田さんや担任のところへ見せに来ました。</p> <p>簡単に出来る万華鏡の仕上がりに大満足で、キットが百円ショップで購入できることを講師の方から聞くと、「うちで買ってもらおう！」とやる気いっぱいでした。</p> </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近なところにある葉っぱもよく見ると同じ葉っぱの中でも色が違う。 ○すぐ見つかる色となかなか見つからない色もある。 ○他の場所でも色を探してみたい。 ○葉っぱや石や実も万華鏡に入れるとすごくきれいになる。 ○自分で作ってみたくなった。 ○作った万華鏡もって帰りたいかった。 ○簡単に出来るから百円ショップでキットを買って作りたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庭にある身近な自然素材である葉っぱや実、石などを、見て、触って、見比べてと体感を通して触れていくことで、「よく見なさい」とあえて言わなくてもジーっと夢中で探し、見るようになる子どもたちの姿に、自然体感プログラムの良さを感じました。 ○配色カードも見やすく使いやすいサイズにラミネートされていて、低学年の子も簡単に扱うことが出来、教材の作り方も参考になりました。 ○配色カードも万華鏡もペアで一つというのも、それはそれで自然とコミュニケーションを働かせられ、良かったと感じました。 ○日ごろ遊びや学習の場として馴染みのある庭であったが、視点を変えると見方考え方も広がるということを学ぶことが出来ました。1時間があったという間な中にも夢中になった良いプログラムでした。
---------------	--

授 業 名	川の生き物探し		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校 3年1組21名 3年2組22名	参加人数	43名
担当者	齋藤 恭子 河合 英樹	記入者	河合 英樹
実施日（期間）	令和元年6月18日（火）		
講師名	川の自然と文化研究会（NPO）		
実施概要	学校の近くを流れる田川入船橋上流へ行って、生き物探しをすることを通して、自然の中でいろいろな生き物が生きていることを知り、自然への関心を高める。		
実施状況 (授業風景)	<p>① 学校から田川入船橋上流まで歩いて行き、川原で講師の先生方と顔合わせをする。 川での学習で注意することを聞く。 安全確保のため、今回はライフジャケットを用意していただいた。</p> <p>② 早速、川に入り、たもを使って川の生き物探しをする。快晴の中だったが川の水は冷たく感じた。しかしながら、たもを川に入れると生き物が見つかり、講師の先生方に名前を聞いたり、友だちと見せ合ったりして、夢中になって活動をした。</p> <p>③ 生き物探しをする中で、川の流れる速いところよりも遅いところのほうが見つけやすいことや石の裏や草むらの中などにもいることに気づいた。</p> <p>④ 昨年奈良井川遊水地で川の生き物探しを行った経験があったので生き物に触れることや川に入ることに抵抗感を持つ児童はいなかった。</p>		




	<p>⑤ 採った生き物たちを学校に持ち帰り、観察会を行った。生き物ごとにトレイに移し、児童は、カードにスケッチしたり気づいたことを書き込んだりした。</p>  <p>⑥ 子どもたちが田川で見つけた主な生き物</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ガガンボ、カワゲラ、カワトンボ、ゲンゴロウ、コオイムシ サワガニ、チアカカアゲロウ、ドジョウ、トビケラ、ヌマエビ トノサマガエル、ヒゲナガトビケラ、ヒラタカゲロウ、 ヨシノボリ、マダラカゲロウ、サナエトンボ</p> </div> <p>⑦ 観察会は50分ほど行った。学習カードに何枚もスケッチをする児童、トノサマガエルを手の上ののせて楽しむ児童など、ひとりひとりが自分の関心のある活動をしていた。</p> 
<p style="text-align: center;">授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生の時の川の生き物さがしと水のつめたさをくらべてみたら、今年の方がつめたくないと思いました。それに、2年生の時に見つけた生き物とちがう生き物がいて、2年生の時に見つけたカエルが少なかったです。 ・ まわりを見ると、とてもきれいな田川だなと思いました。どうしてかと自分で考えると、みんなが大切に川をあつかっているからだと思いました。つめたくて生き物も、元気に育つ川だなと思いました。 ・ トビケラをつかまえているうちに、さわれるようになりました。黒いだんごむしみたいですが、とてもぷにぷにしていて、ゼリーみたいでちょっとかわいいと思いました。わたしは、トビケラとなかよしになったみたいで、とてもうれしくなりました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師の先生方が経験豊富で川についても詳しく、安全面配慮やタモやトレイなどの準備をしてくださっていたので、安心して実施ができたことが大変有り難かった。 ・ 生き物を採取した場所が昨年と異なったため採取できた生き物が異なったことに気づいた児童がいた。環境によって見つけられる生き物の違いに気づくことができた。 ・ 講師の方が用意してくださった「水生生物による水質判定」をもとに、後の総合的な学習の時間で採取した生き物の分類したところ、田川の水質は、比較的よいことに気づいた子どもたちは、田川の良い環境をこれからも維持していこうという意欲をもつことができた。そのために必要なことや自分たちでもできることを考えることを今後の学習展開の主眼に据えていきたい。また、ここで考えたことが今年度の海洋教育へ発展していくように展開できればと考えている。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童はとても楽しかったようで、後日、お家の人と一緒にもう一度訪れて遊んだ子もいた。





<p>授 業 名</p>	<p>川の生き物探し</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立田川小学校 2年1組30名 2年2組25名</p>	<p>参加人数</p>	<p>55名</p>
<p>担当者</p>	<p>古瀬 久美子 岩波 駿</p>	<p>記入者</p>	<p>古瀬 久美子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年6月18日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>川の自然と文化研究会（NPO）・松本ホテル学会</p>		
<p>実施概要</p>	<p>奈良井川脇の湧水（松島橋北側付近）へ行って、生き物探しをすることを通して、自然の中でいろいろな生き物が生きていることを知り、自然への関心を高める。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>① 学校から奈良井川まで歩いて行き、川原で講師の先生方と顔合わせをする。自己紹介をしていただき、川での学習で注意することを聞く。</p> <p>② 早速、川に入り、タモを使って川の生き物探しをする。はじめはおそるおそる川に入っていたが、徐々に慣れ、みんな喜んで、思い思いに生き物探しをはじめ、夢中になっていた。</p> <p>③ 生き物を捕まえると、子どもたちはすぐに講師の先生のところへ行き、名前を聞いていた。なかなか見つけられない子もいたが、講師の先生に生き物がいるような場所を教えてもらい、見つけることができた。生き物の名前を教えてもらい、興味をもつことができた。</p> <div data-bbox="831 712 1453 1099" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="831 1099 1453 1563" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="831 1563 1453 1966" data-label="Image"> </div>		

	<p>④ 捕まえた生き物を持ち帰りたいと言う子もいたが、今回は持ち帰らず自然に返すことにした。</p> <p>⑤ あっという間に時間が過ぎてしまい、子どもたちはもっと探したい様子だった。</p> <p>⑥ 講師の先生方にお礼を行ってから学校に戻った。教室でどんな生き物がいたか、川の様子はどうだったかななどを自分の言葉でまとめた。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の水は、ひんやりと冷たくて気持ちよかった。きれいな川だから生き物がいっぱいいるんだなと思った。 ・知らない生き物をたくさん教えてもらってすごく楽しかった。ヨコエビは石の下に隠れているのが分かった。 ・カニやトノサマガエルをつかまえて楽しかった。どじょうをつかまえたともだちもいてすごいなと思った。 ・楽しかったから、また、来たいと思った。 ・つかまえたけど、生き物が住んでいる場所だから、返せてよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生方が経験豊富で川についても詳しく、いろいろ教えていただいた。安全面の配慮もありがたい。タモやトレーなどの準備をしてくださり、大変有り難かった。 ・このような校外学習を2年生でぜひ続けていきたい。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈りをしないと子どもたちは入っていけない場所である。前日に講師の先生方に刈っていただき、とてもありがたかった。広範囲なので、とても大変だったと思う。

授 業 名	人のくらしと川 ～犀川下り～ 事前学習		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校4学年	参加人数	50名
担当者	担任 大王雅喜 天野和花	記入者	大王雅喜
実施日（期間）	令和元年8月28日（水）		
講師名	リトルピークス 小峰邦良		
実施概要	川とはどういうものであるのかその概要を知り、川下りの準備や安全対策を知り、川下りの心構えをつくる。		
実施状況 (授業風景)			
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高い山に降った雪や雨が地面にしみこんで、長い時間をかけて流れ出し、それが集まってだんだんと大きな流れ（川）になっていくんだな。 ・ 川下りは命に関わることなのでしっかり話を聞かなければいけないな。 ・ 川下りをするためには、ウエットスーツやライフジャケットを着て、運動靴を履いて、ヘルメットをかぶるなど、しっかりと準備をしてから取り組むから安心だな。 ・ 川に落ちた時には、慌てないことや立とうとしないことや泳ごうとしないことがわかった。 ・ 川に落ちた時には、ラッコのように仰向けになって水に浮くことが一番安全であることがわかった。 ・ 川下りの様子がわかってきたので早くやってみたいな。楽しみだな。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師の小峰さんは、実体験に基づいて話をしているので、言葉の一つ一つに重みと説得力があった。さらに、子どもたちに伝えようとする熱意も強く感じられ、子どもたちは自分の事として話を受け止めていた。そのため、小峰さんの話の後の子どもたちの質問が非常に多かった。 ・ 我々教師にとっても経験したことのない活動内容だったので、小峰さんが子どもたちに話を伝えることによって、活動内容を確認する事や子どもたちの反応を知る事ができ、本番で指導する上での心構えができた。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川下りの本番だけでも実施することは可能であったが、小峰さんから話を聞いたり質問したりして、より深く知ることによって、子どもたちの川下りのイメージがより現実的になり、期待感もふくらんだように思った。 		

授 業 名	人のくらしと川 ～犀川下り～ 現地学習		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校4学年	参加人数	51名
担当者	担任 大王雅喜 天野和花	記入者	大王雅喜
実施日（期間）	令和元年9月9日（月）		
講師名	リトルピークス 小峰邦良		
実施概要	川の水が自分達の生活とどう結びついているのか学習してきた子どもたちが、実際にラフティングボートに乗って川下りを体験することを通して、自然との一体感を楽しんだり、ふるさとの川の素晴らしさを感じたりすることができる。		
実施状況 (授業風景)	 <p>ラフティングボートに乗って川下りを満喫する児童。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてラフティングをやってみて、とっても楽しかった。またやりたい。 ・川の中は流れが速い所や遅い所、浅い所や深い所、合流する所や渦になっている所など、様子が違う様々な場所があることがわかった。 ・川から見る景色は自然が豊かでとてもきれいだった。 ・サギやカワウなどの鳥を見ることができた。 ・奈良井川と梓川では水の色や水温が違った。梓川の方が冷たかった。 ・ボートにつかまりながら川に入ることができておもしろかった。 ・ウエットスーツを着て、ライフジャケットを着用すれば、川に入れた。 ・ラフティングボートの底には穴が空いていて、ボート内に水が入ってもたまらないようになっていることがわかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラフティングを実体験するインパクトは圧倒的で、体験自体が児童にとって最高の学習であった。貴重な体験をさせて頂きありがたかった。 ・一艘のボートに7～8名の児童・教員が乗り、ガイドが一艘に一人ずつついてもらった。ガイドの操船技術や安全への配慮が素晴らしく、危険を感じることなく4学年児童51名全員がこの体験を非常に楽しむことができた。 ・川から見た景色は自然が豊かで、ゴミなどはほとんど目に入らなかった。ゴミ問題等に目を向けるためには、違うアプローチをとった方が良かったと感じた。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候（前日の雨等も含めて）に恵まれ、貴重な経験をさせて頂いた。ラフティングの楽しさと故郷の豊かな自然の素晴らしさを改めて体験することができる活動であった。 		


授 業 名	命を育む水の循環		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校4学年	参加人数	51名
担当者	担任 大王雅喜 天野和花	記入者	大王雅喜
実施日（期間）	令和元年10月10日（木）		
講師名	(株)環境技術センター 宮澤恵美 塩原純		
実施概要	<p>私たちの生活と深く結びついている水が、雨や雪が地表に降り、大地にしみこんだ水が川となって流れ、やがては海となり、海や川の水が蒸発して雲となって再び降水するといった循環をしていることを学ぶことを通して、水の大切さについて考えることができる。</p>		
実施状況 (授業風景)	 <p>説明を聞いている児童 実験を観察 水の飲み比べの結果発表</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球ができてから生まれた水は、何十億年もの間ずっと地球にあって、水があるから私たちが生きることができる事がわかった。 ・地球は太陽からの距離がちょうどよいから、水があることがわかった。 ・森があるから、水がゆっくり地面にしみこんでいくことがわかった。 ・実験を見て、ふかふかの土（スポンジ）だと、水しみこんで、地下にたまっていくことがわかった。 ・冷やされた空気から雨が落ちていくことがわかった。 ・水道水と軟水と硬水を飲み比べてみて、全然味が違う。硬水はまずい。一番おいしいのは水道水だ。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の歴史や太陽と惑星の距離から水が地球上に存在することや地球上にある水の中で飲むことのできる淡水の割合がどのくらいあるかなど、興味深い内容についてプロジェクターの映像を使いながら説明してもらったが、小学4年生には少し難しい内容であった。もう少し内容を絞って説明の時間を短くしたり、教諭が間に入って補足説明をしたり、児童からの質問時間をとったりする等の工夫があれば、より深く理解できると思われた。 ・実験を観察したり水道水と硬水と軟水を飲み比べたりする体験は、児童にわかりやすかった。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年の理科の学習に関連付けて学習するのも良いと思う。 ・環境技術浄センターでは、浄水場や下水処理場、工業廃水等の水質検査を行っているので、今回の「水の循環」以外の学習に関わっていただけるかもしれない。 		



<p>授 業 名</p>	<p>奈川渡ダムラフティング体験「奈川渡ダム湖の自然を観察しよう」</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立奈川小学校 2年・4年・6年</p>	<p>参加人数</p>	<p>7名</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 矢崎薫子，小池良徳，佐原健治</p>	<p>記入者</p>	<p>青森隆俊</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年10月17日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>リトルピークス 小峰邦良さん 関谷健司さん</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムボートを膨らませるなどのラフティングの準備と水難に遭った時の身の守り方を教わった。 ・ダム湖でゴムボートを漕ぎながら，普段は見ることでできないダム湖の周りの自然やダム湖からの地域の様子を観察した。 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>空気ポンプで膨らます</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>川で流されたらどうする？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ダム湖をラフティング</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中州に上陸</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・初めてのラフティング体験をととても楽しんでた。 ・川でおぼれた時は斜めに泳ぐことや体を丸めて足が底に引っかからないようにすることなど，いざという時の対処の仕方について知ることができた。 ・普段は見ることでできないダム湖周辺の自然のを観察したり，ダム湖から見上げる奈川地区の様子を見学したりすることで奈川地区の見識や想いを深めることができた。 2 先生方の感想、要望等 <p>奈川地区のことをいろいろな観点から学習しているが，ダム湖にボートを浮かべることができるとは思っていなかった。子ども達にとっても地域をさらに知る非常にいい機会であり，体を使ってラフティング自体を楽しむ体験活動にもなっていた。来年度も継続したい。</p> 		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：29】

<p>授 業 名</p>	<p>「どんな生きものがあるのかしらべてみよう」</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立並柳小学校 2学年 2学級</p>	<p>参加人数</p>	<p>54名</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 野村智子</p>	<p>記入者</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年7月10日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO 法人わおん代表者山田勇さん横田耕太郎さん2名</p>		
<p>実施概要</p>	<p>学校近くの用水路で水生生物調査を行った。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>スジエビ・サワガニ・ヨシノボリ・メダカ・ドジョウなどたくさんの生き物を捕まえることができました。専用の容器を持って来ていただいたので、よく見ることができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>普段、川で遊ぶ機会が少ない子どもたちにとっては、とても貴重な体験だったように思います。とても楽しみながら生き物を捕まえていました。</p>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 自分の学校の近くの用水路にこれほどたくさんの生き物を知って、とても驚いていました。新しい発見ができ、子どもたちにとって楽しい授業になりました。 水路の探検が終わった後、教室に帰ってさっそく発見した生き物の絵を描いたり、生き物辞典を見ながら「これだ～」と、書き加えたりしていた子どもたちです。 2 先生方の感想、要望等 用具等は、合同庁舎の地域振興環境廃棄物対策課環境保全係「せせらぎサイエンス事業」より、すべてお貸かりし大変助かりました。 3 地域の方の感想 安全ボランティアで参加された方が地元の水路にこんなに生き物がいるとは思わなかったと驚いていました。楽しみながら参加してくださいました。 		

授 業 名	大河の一滴		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3学年	参加人数	137人
担当者		記入者	
実施日（期間）	令和元年9月11日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	上高地源流見学に向けて、リトルピークスの小峰さんに「大河の一滴」の授業をしていただいた。		
実施状況 (授業風景)	 <p>川の水がいったいどこからくるのかということを具体的に話していただいた。この事前学習の前に、子どもたちに地図や辞書などで調べさせていたのだが、その時には、「湧き水だよ」「雪とけ水もそうかな？」などという予想を立てていたので、小峰さんの話を熱心に聞いている子が多くいた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想など 以下、子どもたちの感想です。</p> <p>①今日、5時間目にさんかんぴでそうごうをやりました。あずさ川にくわしい人がきてくれました。いろいろな川のことを話してくれました。雪がとけて山からいろいろな場所にうごいて川になることを知ってよかったです。</p> <p>②今日、5時間目にさんかん日がありました。さらに、くわしい人も来てくれて、いろいろなことを聞きました。あずさ川は、まず冬につもった雪がやりがたけから1てき1てきしみこんで、ゆっくり大きい川になっている事が分かりました。</p> <p>2 先生方の感想、要望など 事前の打ち合わせがもう少し具体的にできるとよかったが、やはり詳しい方に話をさせていただくのが、子どもたちにとってもとてもいいと思った。</p>		

授 業 名	上高地源流見学		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3学年	参加人数	36人
担当者		記入者	宮崎正資
実施日（期間）	令和元年9月20日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	頭首工見学、水殿ダム見学、上高地見学（清水川）		
実施状況 (授業風景)	 <p>水殿ダムを見学した。 ダムの下流側と上流側に手を出し、風の流れが大きく違うことに驚いた様子の子どもたち。上流側と下流側に何度も手を出し、ガイドの話に耳を傾けていた。また、ダムを歩いて往復することでその大きさを実感することができた。</p>  <p>河童橋近くの清水川の水を口にふくんだ。子どもたちは、近くを流れる梓川とは、水の透明度や水草の美しさが全く違うことに気がついた。この後、清水川が湧き出している場所を耳で確認することができた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の水は、ほぼ透明で、下にある石が全部見えました。 ・川を上っていったら、どンドン水がきれいになっていったのが不思議だった。 ・くつ下をぬいで川に入ったら、めちゃくちゃつめたかったです。 ・清水川は、こんなにいい自然で、よごさないようにしたいなと思いました。 ・また、家族といっしょに行ってみたいです。 <p>2 先生方の感想、要望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市教育委員会の海洋教育テーマ「地域協働による松本らしい『山・川・海をつなぐ環境教育』」を受け、3年：山、4年：川、5年：海という構想で、上高地学習を行いました。「最初は美しい水で始まるんだ」という原体験が、できたのではないかと思います。 		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：31-2】

授 業 名	上高地源流見学		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3学年	参加人数	36人
担当者		記入者	百瀬綾乃
実施日（期間）	令和元年9月20日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要、 実施状況 （授業風景）	【番号：31-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想など 梓川上流と下流では、どんな違いがあるのかに興味を持った子どもたちは、温度計や石、ペットボトルを持ち込んで調査をしていました。梓川上流の川の冷たさ、透明度に非常に驚いていました。また、石を調査した子どもたちは、石の色に注目して、下流の石との違いを感じていました。 子どもたちがずっと疑問を持っていたことが、今回の上高地源流見学ではっきりしたので、子どもたちも大変満足しているようでした。実際に見て、触れて、感じることはとても大切だと思いました。</p> <p>2 先生方の感想、要望など 私たちだけでは伝えることのできない、上高地のよさや、山・川のことを詳しく教えていただけたのでよかったです。もう少し細かく内容を検討できればよかったですと思いました。子どもたちの考えを事前にお伝えできたらと思いました。</p>		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：31-3】


授 業 名	上高地源流見学		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3学年	参加人数	36人
担当者		記入者	小平勇喜
実施日（期間）	令和元年9月20日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要、 実施状況 （授業風景）	【番号：31-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想など 松本市には、手つかずの自然が残されていること、また、透き通った透明度の高い源流を見ることで、この自然をずっと守っていききたいなと願う子どもたちが大勢いた。</p> <p>2 先生方の感想、要望など 普段の授業など、机上では学び得られないものが体験の中にはある。実際に、見て、触って、感じて学ぶことは子どもたちの学びとしては非常に価値の高い物だと考える。今後、この体験を通じて学んだことを生かす事後指導を充実させていきたい。</p>		

授 業 名	上高地源流見学		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3学年	参加人数	36人
担当者		記入者	小岩井直子
実施日（期間）	令和元年9月20日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要、 実施状況 （授業風景）	【番号：31-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想など</p> <p>源流に近づくことによって徐々に色を変え、透明度を増す梓川の川を目の当たりにして、川を大切にしていきたい、きれいにしていきたいという思いをもつ子がたくさんいました。</p> <p>2 先生方の感想、要望など</p> <p>ガイドの方に案内してもらえたことで、担任では説明できない上高地や川のことについて子どもたちが知ることができ、ありがたかったです。</p>		

授 業 名	自然の中で遊んで学ぼう！！		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 まつかぜクラス(特別支援学級)	参加人数	15人
担当者	小池 文明	記入者	小池 文明
実施日(期間)	令和元年11月1日(金) 午前10時30分から11時50分		
講師名	体験倉庫かけはし 藤村哲さん 三宅信さん		
実施概要	<p>1. 身近な自然や環境のことを子ども達に体験型で学んでもらう。</p> <p>2. 波田地域の山林で生き物探しを行う。</p> <p>3. 自然の中で活動することで、子ども達が自然環境に目を向けてもらえるようにする。</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>始めの挨拶</p>  <p>活動説明(いきもの探し、ビンゴ)</p>  <p>いきもの探し</p>   <p>全体写真</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で身体を動かして目当てのものを探すビンゴは五感を使って楽しく活動していた。 ・自然の中で「足元に気を付ける」「あぶないところに行かない」等子どもなりに考えて、安全に遊ぼうとする姿が見られた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>自分達が通う小学校の校区に、自然の事を知るフィールドがあるので、そこで自然に親んでもらえてよかった。自然の中では子ども達の表情が生き生きしているように感じた。</p>		

授 業 名	ワクワク下水道教室			
学校名、 学年、学級	二子小学校 4年1組19名 4年2組19名	参加人数	38名	
担当者	4年1組担任 細山 ゆかり 4年2組担任 千野 民絵	記入者	4年1組担任 細山 ゆかり	
実施日（期 間）	令和元年 7月1日（月）			
講師名	松本市上下水道局下水道課			
実施概要	<p>1 下水が浄化センターまでどのように届き処理されるかを、DVDや模型などを使って学習した。</p> <p>2 紙を水に溶かす実験を体験し、トイレットペーパーとティッシュペーパーの溶けやすさと用途の違うわけを学習した。</p> <p>3 浄化センターの微生物と、校内の水槽の微生物を観察した。</p>			
実施状況 (授業風景)	 <p>1 DVDで下水道の仕組みと、浄水の様子を知りました。</p>	 <p>2 模型を使って下水道管などについてさらに勉強しました。</p>	 <p>3 水を入れた2本のペットボトルをふってトイレットペーパーとティッシュペーパーの溶けやすさを知りました。</p>	 <p>4 微生物の水を浄化するはたらきを知ってびっくり。学校の水槽にはあまり微生物がいませんでした。</p>

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 (児童の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家や学校から出た水や下水が、あんな遠くまで行くとは知らなかった。 ・ティッシュが水に全然溶けなかったので、トイレットペーパー以外は水に流してはいけない理由がよくわかった。 ・本物の微生物を見られておもしろかった。 ・家族に下水道を大切にする方法を伝えられてよかった。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 髪の毛を流さない。 (2) 油を流さない。 (3) お風呂の排水のトラップを時々きれいにする。 <p>(その他)</p> <p>上記以外に、下水道、マンホールがあることの意味、浄化センターの役割などについての理解が深まりました。7月5日に実施した宮渕浄化センター見学では、見たいことや聞きたいことを明確にもち、意欲的に見学できました。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせをはじめ、事前の準備・設営、子ども一人ひとりの実験用具の準備、片付けなどを丁寧にすべてやっていただき、たいへんありがたかったです。 ・事前に下水道についてのDVDを視聴することをすすめていただきました。その内容と合わせて、いろいろな知識をもって見学に行けてよかったです。子どもたちは、意欲をもって見学し、学んでいました。 ・下水の処理について、本事業と実際の見学で学び、子どもたちの下水道事業への理解はとても深まりました。4年生の社会科では両方を扱うため、松本市の上水事業について学ぶ方法や機会がさらに増えることを願っています。ぜひ給水事業についても学校の教室で学べるような講座を用意していただけるとありがたいです。
---------------	--

<p>授 業 名</p>	<p>木の活用法と小物作り</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>二子小学校 特別支援学級 12名</p>	<p>参加人数</p>	<p>12名</p>
<p>担当者</p>	<p>あおぞら学級担任 波多腰 智恵 そよかぜ学級担任 中原 留美 ひまわり学級担任 百瀬 清美</p>	<p>記入者</p>	<p>中原 留美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年 7月25日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>		
<p>実施概要</p>	<p>1 木の種類についてのお話 持ってきていただいた木について、どんな木なのかを教えていただいた。 また、校庭の桜の木の枝も工作で使えるというお話を聞いた。 2 木工作 作り方を聞きながら、一つ一つ作った。ペアで協力して穴をあけたり、教え合ったりしながら作品を作った。名札、ペンたて、動物の置物、キーホルダーを作った。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>いろいろな種類の木があるんだね。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>これで作ってみよう。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">ペアになって、教え合いながら作りました。</p>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものを作ることができて楽しかった。 ・名札の紐を通す穴を空けるのが大変だった。 ・友達に教えたり、手伝ってもらったりして楽しかった。 ・家におみやげを持って帰ることができてうれしかった。 ・校庭の桜の木でたくさん作ってみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな木の枝から様々な作品を作ることができて、子どもたちはとても喜んでいました。 ・一人で作る活動や、友達と協力して作る活動があり、作品が出来上がった時は満足感が得られたと思います。「今度はこんな風に作りたい」「こうしたらどうかな」など、今後の販売活動に向けて、意欲的な発言を聞くことができました。 ・普段ではなかなかできない活動をさせていただき、ありがたかったです。準備や片付けなどの配慮をいただき、安全で楽しく活動できました。 		

授業名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級 参加人数	二子小学校 4年1組19名 4年2組19名	参加人数	38名
担当者	4年1組担任 細山 ゆかり 4年2組担任 千野 民絵	記入者	4年1組担任 細山 ゆかり
実施日（期間）	令和元年 11月5日（火）		
講師名	寿さと山クラブ		
実施概要	<p>1 木の年輪についてのお話 バウムクーヘンは木の年輪を模したお菓子であること。年輪を見るとその木の樹齢や過去の気候の変動の様子がわかるというお話をしていただいた。</p> <p>2 バウムクーヘン作り 卵と粉を溶いて生地を作って竹に生地をつけ、安全に気をつけながら焼くことを繰り返し、友だちと力を合わせてバウムクーヘンを作って味わった。</p>		
実施状況 (授業風景)	 <p>1 木の断面を見ながら、年輪について勉強しました。</p>	 <p>2 卵を割って、材料をまぜて生地作りをしました。</p>	
	 <p>3 安全に気をつけながら、焼いていきました。</p>	 <p>4 切り分けて、さあ、みんなで味わいましょう。</p>	

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- 木の年輪を見ると木の年齢がわかることは知っていたけれど、年輪の幅で、その年が寒かったのかがわかることを知りました。年輪からいろんなことがわかるんだなと思いました。
- 学校の桜を見て、だいたい30歳ぐらいだと教えてもらってすごいと思いました。
- 卵をこんなにたくさん割ったことがなかったので面白かったです。熱くてたいへんだったけれど、おいしいバウムクーヘンができてよかったです。
- バウムクーヘンは初めて作ったけれど、協力してできたので良かったです。
- けむりが出るし、重くてたいへんだったけれど、焼けたら甘くておいしかったです。家で分け合ったら、家族も「おいしいね」と言っていました。

2 先生方の感想、要望等

- 担任は2人とも経験が無かったのですが、打ち合わせから、とても丁寧に説明や準備をしていただきました。当日も、スムーズに進めていただきました。学校では、ご連絡いただいた通りの材料と物品の用意を行い、寿さと山クラブの方には設営と片づけをを全部やっていただきありがとうございました。
- 子どもたちは朝からバウムクーヘン作りを楽しみしていました。輪切りにした木を示し、年輪を見れば木の年齢がわかることを教えていただきました。また、1年ごとに年輪の間隔を見れば、その年の少雨や干天などの気候を想像することができるというお話をお聞きして、子どもたちに興味が広がり、家族に伝えたり日記に書いたりする子どもがいました。
- コンパクトなスペースで約40人の子どもが活動しましたが、安全に活動できるように、動きや声かけについて具体的に指導していただいたので、怪我なく楽しく活動できてありがとうございました。
- できあがったバウムクーヘンをおいしく味わうだけでなく、持ち帰り袋も用意していただき、ありがとうございます。自分たちで作ったものを家に持ち帰り、家族に食べさせてあげられて、子どもたちはとても嬉しそうでした。また、保護者からも、良い経験ができたことを喜ぶ声が届きました。
- これからも毎年ご来校・ご指導いただけるとありがたいです。

<p>授 業 名</p>	<p>ぬかくどご飯炊き体験</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立二子小学校</p>	<p>参加人数</p>	<p>47名</p>
<p>担当者</p>	<p>1組担任 元島 弘人 2組担任 尼崎 千佳</p>	<p>記入者</p>	<p>元島 弘人</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年11月11日（月）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団</p>		
<p>実施概要</p>	<p>1 ぬかくどについてのお話 紙芝居等を使い、「昔は多くの家庭でぬかくどを使っていたこと」「ぬかくどの利点」について話していただいた。 2 ぬかくどを使ったご飯炊き体験・おにぎりづくり ぬかくどにもみをくべたり、一人3個おにぎりをつくったりした。 3 食品を大切にするようにお話していただいた。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>あったかいねえ。 この穴にぬかを入れるんだね。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>おにぎりはやわらかくつくるんだね。いいにおい！</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>早く食べたいなあ。 こんなおいしいお米食べるの初めてだ！</p> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなおいしいご飯を食べたのは初めてだ。 ・塩だけでこんなにおいしいなんてびっくり。お米がすごくおいしい。 ・お米がおいしくて、本当にびっくりした。お母さんにも食べてもらいたい。 ・昔はこんなにおいしいご飯を食べていたんだ。いいなあ。 ・さめてもおいしいなんてすごい。お家に持って帰って家族に早く食べさせてあげたい。 ・またぬかくどご飯炊き体験をしてみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぬかくどで炊いたご飯が本当においしく、私たちも驚きました。なかなか体験できないことなので、とてもよい機会になったと思います。 ・学校側の準備が「届いたお米を磨いで水に浸しておくこと」だけだったので、とてもありがたかった。 ・とにかくお米がおいしかったので、「食品を大切にする姿勢」など話していただく内容に説得力があった。このような「本物」をもとにしたお話だと、子ども達も納得して行動を少しずつでも変えていけるのではないかと感じた。 		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立芳川小学校 4年生	参加人数	
担当者	窪田 智子 伊藤 幸司 松山 美好 西村 昌子	記入者	窪田 智子
実施日（期間）	令和元年6月6日（木）		
講師名	松本市上下水道課 両角さん 他3名		
実施概要	<p>①学校の下水が両島浄化センターへ流れていく様子を知る。</p> <p>②トイレットペーパーとティッシュを使い、どちらの紙が水に溶けやすいかの実験をする。</p> <p>③顕微鏡を使って、浄化センターの水の中にいる微生物を観察する。</p>		
実施状況 (授業風景)	 <p>下水道の仕組みを分かりやすく説明</p>	 <p>クイズも交えて楽しく</p>	
	 <p>ティッシュはなかなか溶けないね</p>	 <p>微生物に興味津々</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレットペーパーは水にすぐ溶けたのに、ティッシュは固まっていたから、トイレに流してはいけないと思った。 ・下水道が川の下を通っていく仕組みは、四ヶ堰の分水口の仕組みと似ていると思った。 ・スクールファームや浄化センターの水の中にいる微生物を見られて楽しかった。社会科見学では、もっとたくさんの微生物を見てみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使われた水が、下水道を通して浄化センターに届く様子がとても分かりやすくまとまっていた。 ・微生物に興味を持った児童がたくさんいた。社会科見学の事前学習として、とても効果があったので来年度も行っていきたい。 		

授 業 名	ひみつきち作り 前編		
学校名、学年、学級	松本市立中山小学校 3学年	参加人数	16名
担当者	宮寄 さや香	記入者	宮寄 さや香
実施日（期間）	令和元年10月21日（月）		
講師名	信州やがいたいけん楽校ぶらす 降幡 光幸 中村 晃二		
実施概要	<p>総合的な学習の時間「『上に登れる安全なひみつきち』作り」を講師の方に支援していただく。</p> <p>きちの土台となる大事な部分は講師の方に行っていただき、床の固定などは子どもが作業する。この日は3階まで作る。</p>		
実施状況 (授業風景)	 <p>ロープを使ってちょうちょう結びの練習をする。</p>  <p>使う資材を作る場所までみんなで運ぶ。</p>  <p>固定で使うロープを「ひろ（両手を広げた長さ）」という単位で切るという仕事を行う。</p>  <p>講師の方二人が、ロープでしっかり固定できるように竹を支える。</p>		



ちょうちょう結びで床を固定する。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・最初は斜めになっている場所に「ひみつきちなんて作れるのかな？」と思っていたけれど、自分から積極的に手伝ったらちゃんと真っ直ぐできた。楽しかった。
- ・最初は「ひみつきち作るのって無理かな」と思っていたけれど、いろんな人に意見をもらい、最終的に降幡さんと中村さんに教えてもらってひみつきちを作れることができた。

2 先生方の感想、要望等

4月から計画を進めてきた「ひみつきち作り」がいよいよ製作に入り、子どもも私もとても嬉しかった。子どもたちが自ら進んで体を動かし、協力する姿が見られ、子どもの成長を感じた。

「ひみつきちなんて作れないと思っていたけれど、諦めなかったから作れた」と経験を通して学ぶ大切な学習になった。

今回は3階までしか作れなかったが、次回完成させ、夢が叶い、そのひみつきちからどんな学習が広がっていくのか楽しみである。

<p>授 業 名</p>	<p>ひみつきち作り 後編</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立中山小学校 3学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>16名</p>
<p>担当者</p>	<p>宮寄 さや香</p>	<p>記入者</p>	<p>宮寄 さや香</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年10月28日（月）</p>		
<p>講師名</p>	<p>信州やがいたいけん楽校ぷらす 降幡 光幸 中村 晃二</p>		
<p>実施概要</p>	<p>総合的な学習の時間「『上に登れる安全なひみつきち』作り」を講師の方に支援していただく。 この日はきちを4階まで完成させるとともに、ボルダリング作りや滑り台の固定をする。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   <p data-bbox="515 1005 1469 1081">ボルダリング作りを行う。二人組みになって板と木材のそれぞれの穴の位置を合わせ、ロープを通し、ちょうちょう結びをする。柱に固定する。</p>  <p data-bbox="515 1435 995 1467">滑り台もちょうちょう結びで固定する。</p>  <p data-bbox="515 1821 1331 1852">16名全員が乗っても崩れない、4階建てひみつきちが完成する。</p> </div>		



作った遊具（ボルダリング、滑り台、ブランコ、ターザンロープ）で遊ぶ。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ 3階建てが4階建てになってびっくりした。ブランコ、滑り台、ボルダリング、ターザンロープを作ることができてよかったし、すごく楽しくできてよかった。
- ・ みんなでひみつきちで授業をしたり、お弁当を食べたりしたい。
- ・ ひみつきちでいっぱい遊びたい。
- ・ ひみつきちにお家の方や先生方、他の学年、地域の人を招待したい。

2 先生方の感想、要望等

夢だった「上に登って中山のすてきな景色が見えるひみつきち」がやっと完成し、前回に増して喜びと達成感を味わった。諦めず、チャレンジし続ければ夢は叶うということを子どもも私も学んだ。

できたひみつきちで授業や工作、火起こし、お弁当を持ってきて1日過ごす、お楽しみ会をする、他の人達を招待するなどの願いが子どもから生まれた。子どもたちの希望を一つひとつ叶えていきたい。

<p>授 業 名</p>	<p>ひみつきちとのお別れ</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立中山小学校 3学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>16名</p>
<p>担当者</p>	<p>宮寄 さや香</p>	<p>記入者</p>	<p>宮寄 さや香</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年11月18日（月）</p>		
<p>講師名</p>	<p>信州やがいたいけん楽校ぷらす 降幡 光幸 中村 晃二</p>		
<p>実施概要</p>	<p>総合的な学習の時間「ひみつきちのお別れ会」を講師の方に支援していただく。 この日は「きち」で講師の方へのお礼の会と最後のひみつきち遊びを行い、その後「ひみつきち解体作業」を行う。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="502 667 941 996" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="502 1003 1481 1254">講師の方へお礼の会を行った。このお二人と出会えたおかげで、子どもたちの大きな願いであったひみつきちを完成することができ、たくさんの活動をする事ができた。子どもたちはその感謝の気持ちをメッセージとプレゼントで現した。自分のメッセージを読み、カードに加えて喜源治にある物を材料にして作った竹の箸やお皿など、一人ひとり工夫したプレゼントを渡した。</p> <div data-bbox="502 1276 941 1601" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="949 1276 1388 1601" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="502 1608 1481 1680">講師の方にスラックラインやターザンロープを付けていただき、最後のひみつきち遊びをみんなで楽しんだ。</p>		



解体作業は、固定していたロープを一つひとつ解き、資材を平地まで運び、4階建てのひみつきちを自然に返した。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・今まで遊んでいたきちがなくなることは悲しい。でも、この場所にみんなで来たい。
- ・もっと遊びたかったけど安全のためなら仕方がないと思った。
- ・壊すことが決まっていたから、それまでにやりたいことをいろいろできたのかもしれない。
- ・次は第二のひみつきちを作りたい。
- ・喜源治マップを作りたい

2 先生方の感想、要望等

ひみつきちを自然に返すことで、子どもたちは落ち込むのではないかと思っていたが、表情は晴れ晴れとしていた。それはきっとひみつきちで、やりたいことをすべて叶え、心から楽しみ、満足しているからだと思った。

また、ひみつきちでの活動での子どもたちの言動や行動などからたくさんの成長を感じた。こんなにすてきな経験をさせてくれたひみつきちに心から感謝している。

夢のひみつきち作りを終え、子どもたちは次にやりたいことを見つけた。「終わりは始まり」だと感じた。その新しい気持ちを大切に今後も喜源治を拠点に活動していきたいと考えている。

<p>授 業 名</p>	<p>特別支援学級「かがやき」里山学習</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立明善小学校 1年～5学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>23名</p>
<p>担当者</p>	<p>後藤 清人</p>	<p>記入者</p>	<p>後藤 清人</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和元年 10月 28日（月）</p>		
<p>講師名</p>	<p>鈴木 喜一郎 里山クラブの方々</p>		
<p>実施概要</p>	<p>ごみ拾い活動・山の神周辺の散策（木の実拾い・きのことり）など</p>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<div data-bbox="485 613 1177 976" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="485 992 1441 1070"> 鈴木さんから、お話を聞き、山にあってはならない「ゴミ」をみんなで拾う。小さなプラスチックのようなゴミも拾うことができた。 </p> <div data-bbox="485 1133 1362 1487" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="485 1505 1473 1713"> 里山クラブや地域の方が作って下さった手作りブランコにのる。公園にあるのとは違い、動きも不規則で漕ぐのが難しかったが子どもたちは隣の子と当たらないように工夫していた。山のおいやさわやかな風をたくさん感じる事ができた。また、のこぎりを使って白樺の木を切る体験もできた。上手に切るにはいくつかのこつがあることを感じる事ができた。 </p> <div data-bbox="485 1720 1246 1973" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="485 1980 1331 2013"> 生まれて初めてきのこを見つけ、自分の手で取り、喜ぶ子どもたち。 </p>		



みんなで、山道を中心にきのこを探しに出発。きのこ以外にも、鹿が角を磨いだ木についた傷やいろいろな物をたくさん発見。里山クラブの方に聞いたり、質問したりして、楽しく学習できた。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

普段経験できない初めての体験が多く、とても楽しく有意義な学習できた。子どもたちは、大自然の中に行くと心も開放され、生き生きと活動させてくれる森や山の自然の力の偉大さを知った。また、地域の方が自然を守るいろいろな努力をされていることが分かった。

2 先生方の感想、要望等

子どもたちにとって、山・自然・きのこ採りという初めての体験を思う存分楽しむことができたことは、とても貴重な体験だった。きのこ採りでは、何度もきのこを見つけ、鈴木さんや里山クラブの人に見てもらおう中で、なんとなく子どもたちは食べられそうなきのこことそうでない物を区別できるようになった。木の登り方、のこぎりの切り方、ブランコ、ハンモックなどこれまた普段できない体験から、子どもたちは工夫することの大切さを自ら見つけられる子もいた。

授 業 名	6 学年秋の里山学習		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 6 学年 3 学級	参加人数	79名
担当者	森田 将人	記入者	森田 将人
実施日（期間）	令和元年 9 月 30日(月)		
講師名	鈴木 喜一郎 里山クラブの方々		
実施概要	森の整備・ごみ拾い活動 きずなの森周辺の散策（木の実とり，きのことり）など		
実施状況 (授業風景)	 <p>子どもたちが、折れた枝や倒木の残骸などを拾い集めた。森の整備活動にどの子も「森のため」という気持ちで意欲的に取り組んでいた。</p>  <p>県の林務課の方から森林の大切さや今の松本の山の現状などを聞き、人の手で守っていかないといけないというお話をしていただいた。</p>  <p>散策の際に勉強したきのこをもとに、お弁当の時間にきのこ汁を作って食べた。きのこ嫌いの子どもも少しは食べてみようがんばる姿もあった。</p>		



昼食後、森の散策と川の散策に分かれて学習した。森の散策では、珍しいきのこを見つけたり、植物について詳しく学習したりした。
川の参観では、川にいる見慣れない生き物を見つけて里山クラブの方に質問して、学習するなど楽しく学習できた。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

普段経験できない活動でとても楽しく学習できた。森のことについてあまり考えたことは無かったけど、今回の里山学習で森について考えようと思った。

2 先生方の感想、要望等

子どもたちにとって、身近そうで実はよくわかっていない山について学習することができた。社会科の授業で学習した人工林や天然林について実際に見てみることを通して、山にどのように植えてあるのかや、ただ植えてあるだけでなく、手入れをしていかないとしっかりと生長しないということを教わることができた。森の整備にも話を聞いたことでがんばって取り組むことができた。木以外の植物にも里山クラブの方にいろいろ教わり、自分たちできのこを見つけては食べられるか食べられないかを尋ねて楽しみながら植物について学習できた。山についてよく考えるよい機会になった。

☆講師コメント☆



松本市小中学校環境教育支援事業を実施した講師の皆さんから、コメントをいただきました。

合同会社リトルピークス 小峰邦良

今年度は環境カレッジ及び海洋教育の予算により、昨年度よりもより多くの現場に携わる事が出来た。その結果、様々な学習を通して多くの児童、教師、団体の皆さんと繋がることができ、充実の一年だった。まだまだ問題は山積しているが、一步ずつ唯一無二の松本環境教育スタイルを創り出せたら素晴らしい。

その為にはこの火を絶やさぬよう、関係各所一体となって取り組んで行きましょう！何より未来ある子ども達の為に！！

体験創庫かけはし 藤村哲

令和元年度は私が住む地元波田小学校の特別支援学級の児童が私の管理する田んぼへ来ていただき、農作業を中心に様々な体験をしてもらいました。普段の生活で身近にない農機具を使う体験や、自然の中での活動を通じて、自分たちが食べるお米について学びと気づきを得てくれたように思います。今後も体験農園をはじめ、子ども達が体験を通じた学びが得られる機会と場所を提供していきたいと思っています。

自然観察の会 ひこばえ 村上さよ子

○松本市菅野小学校

いつも見慣れているはずの校庭での自然観察でした。

植物の名まえ、花、葉、タネ、においなどや、砂場のスズメの砂あび（おふろ）の跡、菅野の名前由来のスゲなど、短時間の中で、どれだけのことを見て、感じてもらったのかは、気になるところですが、これをきっかけに校庭での自然の楽しみ方や、親しみ、興味がいっそう深まることを願いました。今年度の今井小学校は、1年生のみ、2時間をかけての自然観察でした。

○松本市今井小学校

毎年声をかけていただいて、プログラムの進め方は同じような内容になっても、年ごとに出来るものはちがっていたり、困ることはありません。

時間をかけて、木の実や草花、キササゲ（楸）の木をさがしたり、クリを食べる虫の正体やフユノハナワラビのふえ方をさぐったりと1年生には少し難しいかなと思えることも、学んでみる事ができました。今年はドングリのカレー（硬いラップの芯の筒にドングリを入れ、順に次の人の筒に移していく）をして少しばかり楽しみました。いつも子供たちの生き生きとした表情に元気をもらっています。

松本ホテル学会 藤山静雄

田川小 2, 3 年を担当させて頂きました。2 年は奈良井川湧水で、生き物を見つけ捕まえます。初めての川の生き物採集でまごつきますが、直ぐに熱が入り活気づきます。カエル、サワガニ、ドジョウと大物がとれると顔中に笑みを浮かべ報告にきます。捕れない子もいて、何とかしてあげたい！でも、思うようにはいきません。今ではもう稀なこの学習、みんなとても感動します。教室に戻り 3 年生の生き物調べ、これは何?と質問攻め！子供達の熱気が伝わる、楽しい授業でした。

信州やがいたいけん楽校ぷらす 降幡光幸

安全に関わる所は講師が、機材の運搬や、床の固定、遊具作り等、子どもたちで出来る所はほとんど作業をしてもいました。竹、コンパネ等機材運搬は、急斜面で大変だったと思いました。蝶々結びの練習後、本体、ポルダリング作り等、公園とは別次元の手作り基地、最初は怖くて遊べなかった遊具も、友達のおそび方を見てチャレンジ！出来た時の嬉しそうな笑顔が印象的でした。

解体は組み立て時以上に危険が伴う作業なので緊張しましたが、子どもたちがお互いに協力し合って無事終了ホッとしました。数か月に及び、子どもたちが企画、計画、全員協力して完成した事は、達成感、満足感を得た事と思います。授業やイベントも基地で行ったようで、終了時には子どもたちが眩しく映りました。自然の中で活動する事がいかに有意義なことか、改めて実感した秘密基地作りでした。

今回の企画から実施に当たっては、先生の熱意があったからこそ実現できたものと思い、感謝いたします。

松本市上下水道局下水道課 両角昌幸

4 年生の社会見学では浄化センターに来て下水を処理する仕組みを学んでもらいますが、この講座ではこちらから学校へ出向き、家で使った水を流すところなども含め、一步踏み込んで下水道を勉強してもらいます。画像を見たり話を聞くのは少し退屈になってしまいますが、ペットボトルを使った紙を溶かす実験では、子どもたちは両手に持ったペットボトルを元気いっばいにシェイクして、紙の溶け方の違いに大声をあげて驚いています。生き活きたとした子どもたちの姿を見て、やはり学びには体験・体感が大切だと改めて実感します。

令和元年度
松本市小中学校環境教育支援事業
学習プログラム一覧



令和元年度 小中学校環境教育支援事業 環境学習プログラム一覧

分類	No	講座名称	講師
校内	きく・みる	1 気候変動と SDGs	自然エネルギーネットまつもと
		2 ツキノワグマの生態を知ろう	NPO法人信州ツキノワグマ研究会
		3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ環境。	認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ
		4 使わないものはゴミではなく資源	フリマネット信州
		5 まつもとの環境について学ぼう	松本市環境政策課
		6 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		7 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス
	たべる	8 むかくどご飯炊き体験	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団
		9 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ
		10 木質バイオマスエネルギー利用方法	自然エネルギーネットまつもと
	つくる	11 プランター菜園講座	いきものみつけファーム in 松本推進協議会
		12 木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ
		13 裁縫作業指導（マイ箸収納用袋制作）	松本市社会福祉協議会ボランティアセンター
		14 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		15 自然素材で簡単工作	NPO 法人わおん
	実験する	16 やさしい放射線の実験教室	株式会社 環境技術センター
		17 水はどこから？	株式会社 環境技術センター
		18 あかりのエコ教室	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社 松本電材営業所
		19 エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社 松本電材営業所
		20 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課
		21 小水力発電機による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
校外	公園等	22 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ
	川	23 水辺の観察会	NPO 法人えんどっこ
		24 水辺の生物の観察会	NPO 法人川の自然と文化研究所
		25 生きもの観察「今、自然を大切にすることがなぜ大切か？」	松本ホテル学（まなぶ）会
		26 梓川リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス
		27 梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス
		28 水殿ダムクラフトピクニック（ダム見学付き）	合同会社リトルピークス
	山	29 子どもの森の健康診断	森の健康診断出前隊
		30 地元の山が 100 倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス
	特定の場所・その他	31 地域発見ウォーキング	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団
		32 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会
		33 石窯ピザづくりたいけん	NPO 法人石窯スマイル研究会
校内外両方で可	34 いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファーム in 松本推進協議会	
	35 体感&体感！ 自然体験学習!!	信州やがいたいけん楽校ぶらす	
	36 体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	
	37 火おこしと簡単な野外料理、農業体験	体験創庫かけはし	
	38 自然体感プログラム	NPO 法人わおん	
	39 外あそびの達人講座	NPO 法人わおん	


環境学習プログラム 教科・領域との関連について

講座ごとに、教科、領域を関連づけました。ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

分類	No	講座名称	関連する主な教科・領域					
			社会	理科	図工 美術	技術 家庭	生活	総合
校内	きく・みる	1 気候変動と SDGs	○	○				○
		2 ツキノワグマの生態を知ろう					○	○
		3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ環境。	○	○				○
		4 使わないものはゴミではなく資源	○					○
		5 まつもとの環境について学ぼう	○					○
		6 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	○	○				○
		7 梓川大好き！ 大河の一滴プロジェクトスライドショー	○	○			○	○
	たべる	8 むかくどご飯炊き体験	○			○		○
		9 木の授業とバウムクーヘン作り	○					○
		10 木質バイオマスエネルギー利用方法		○				○
	つくる	11 プランター菜園講座					○	○
		12 木材の活用法（小物づくり）	○		○			○
		13 裁縫作業指導（マイ箸収納用袋制作）				○		○
		14 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり			○			○
		15 自然素材で簡単工作			○		○	○
	実験する	16 やさしい放射線の実験教室						○
		17 水はどこから？	○	○				○
		18 あかりのエコ教室		○				○
		19 エコと太陽光発電教室		○				○
		20 ワクワク下水道教室		○				○
		21 小水力発電機による自然エネルギー体験		○				○
校外	公園等	22 身近な自然観察		○			○	○
	川	23 水辺の観察会	○	○			○	○
		24 水辺の生物の観察会	○	○			○	○
		25 生きもの観察「今、自然を大切にすることがなぜ大切か？」		○			○	○
		26 梓川リバーアドベンチャー					○	○
		27 梓川&奈良井川&犀川ラフティング					○	○
		28 水殿ダムクラフトピクニック（ダム見学付き）					○	○
	山	29 子どもの森の健康診断	○					○
		30 地元の山が100倍好きになる登山学					○	○
	特定の場所・その他	31 地域発見ウォーキング	○			○		○
		32 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について	○				○	○
33 石窯ピザづくりたいけん					○		○	
校内外両方で可	34 いきもの探しと観察及び環境教育講座		○			○	○	
	35 体感&体感！ 自然体験学習!!	○	○			○	○	
	36 体験して学ぶ「自然や環境」について	○	○	○		○	○	
	37 火おこしと簡単な野外料理、農業体験	○			○	○	○	
	38 自然体感プログラム		○			○	○	
	39 外あそびの達人講座					○	○	

●講師の選定、講座内容の作成に関して、環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク等の協力をいただいています。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	気候変動と SDGs (講座 No. 1)
<p>支援事業内容</p>	<p>気候変動と SDGs を学びます。 気候変動とはどんなことで、地球上で何が起きているのか 私たちはこれからどうしたらよいのか SDGs とは何か、その本質はどのようなことなのか</p> 
<p>対象</p>	<p>小学4年生以上</p>
<p>時間数</p>	<p>1時間程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子どもの人数に関係なく講師1人</p>
<p>費用</p>	<p><u>①講師謝礼 → 【報償費】</u> ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） <u>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</u> ・なし <u>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</u> ・なし</p>
<p>学校側で 必要な準備</p>	<p>プロジェクターとスクリーン（なければ講師が持参します）</p>
<p>講師からの 持込資材等</p>	<p>説明用教材</p>
<p>講師について</p>	<p>2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。</p>
<p>開催実績</p>	<p>2014～2017年度 会田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス</p>
<p>その他</p>	<p>・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.10の講座も提供しています。</p>
<p>講師 連絡先</p>	<p>【団体名】自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】平島安人 【代表者名】平島安人 【TEL】0266-52-0160（留守電） 【FAX】0266-52-0160 【メール】nematsu@gmail.com 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう (講座 No. 2)	
支援事業内容	<p>講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援</p> <p>パワーポイントを用いた講義</p>	
対象	小学1年生から中学3年生まで	
時間数	45～90分程度	
講師人数	子ども100人に講師2人	
費用	<p><u>①講師謝礼 → 【報償費】</u> ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p><u>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</u> ・なし</p> <p><u>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</u> ・なし</p>	
学校側で必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン ・プロジェクター 	
講師からの持込資材等	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン ・トランクキット（クマの毛皮、頭骨等）、クマの着ぐるみ 	
講師について	ツキノワグマの生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現することを目的として、20年以上に渡り、ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を行っています。授業は、実際にツキノワグマの研究を行うメンバーが実施します。	
開催実績	<p>平成27年度 安曇小中学校 ツキノワグマの生態を知ろう</p> <p>平成28年度 奈川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう</p> <p>平成30年度 田川小学校 山の動物</p> <p>平成30年度 会田中学校 ツキノワグマってどんな動物？</p>	
その他		
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人 信州ツキノワグマ研究会</p> <p>【担当者名】浜口あかり 【代表者名】岸元良輔</p> <p>【TEL】0263-36-1884（不在が多いため、他の方法でご連絡ください）</p> <p>【FAX】0263-36-1884</p> <p>【◎メール】kumaken_shinshu@yahoo.co.jp</p> <p>【HP】http://www.geocities.jp/shinshukumaken/</p> <p>【住所】〒390-0876 松本市開智2-9-8</p>	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。 (講座 No. 3)
支援事業内容	<p>学校登山の事前学習とあわせて、信州の山を知って楽しむための講座。山の魅力、山の特徴、登山の効用、山の楽しみ方、山との関わりなどについて、講義とアクティブラーニング（能動的な学習）を通して学びます。子ども達が山を好きになることは、これからの地域の魅力作りパワーの源になります。そして、SDGs（持続可能な開発目標）を意識した地域づくりの原点にもなります。また、先生方にも現在の登山のスタンダードを知っていただき、きつい訓練登山的な考え方からの解放を目指します。</p> 
対象	小学4年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	90分程度
講師人数	1学年に講師1人（学年単位で実施できます。）
費用	<p>① <u>講師謝礼</u>→【手数料】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分ごと）</p> <p>② <u>コース・学年全体に必要なもの</u> →【消耗品費】 ・なし</p> <p>③ <u>個人に必要なもの</u> →【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	パワーポイントの使用できることと、軽い運動ができるスペース
講師からの持込資材等	パソコン
講師について	<p>2005年に設立された、長野県の山岳地帯を主な活動場所とするNPO法人です。登山ガイド・自然ガイドのライセンス保持者で構成されています。登山ガイドの松場省吾他、学校登山サポートプログラムを長年担当しているガイドが実施いたします。信州の子ども達が、山好きになるきっかけを作りたい。山好きになって、山での遊びを沢山知ってもらえば、登山や野外で活動は大人になっても続けることができる。“持続可能な登山と自然体験”を目指して活動しています。</p>
開催実績	<p>2012、14年度 会田中 2015年度 開智小「シカと環境のワークショップ」（美ヶ原キャンプ時） 2016年～18年度 松本市環境学習講座「シカの角を探そう」等 その他学校登山、上高地学習など多数実績があります。</p>
その他	<p>学校登山実施の申し込みがなくてもご利用いただけます。 小学校の美ヶ原登山などへの出前講座も可能です。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 【担当者名】松場省吾 【代表者名】植松晃岳 【TEL】0263-34-1543 【FAX】0263-55-6194 【メール】matsusho2013@ab.auone-net.jp 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒390-0304 松本市大村1082-4</p>
申し込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	使わないものはゴミではなく資源 (講座 No. 4)
支援事業内容	<p>当団体で支援しているカンボジアやフィリピンの子どもたちの現状や暮らしについて学び、現地の子どもたちをどうやって応援するか、子どもたちとアイデアを出し合い、実践する講座です。</p> <p>【取組例】 不要になった文房具などを家庭や友人などに呼び掛けて、集め、実際に梱包して現地に発送するまでを体験する。</p> <p>①環境負荷の現状について知る ②不用品がゴミではなく資源であると学ぶ ③必要としている国の人たちに実際に届ける体験をする</p> <p>自らの生活の中で「不要になったもの」を廃棄物でなく「資源」としてとらえることで、未来の環境負荷を軽減することの大切さが学べます。</p>
対象	小学校中学年～中学生まで
時間数	2時間くらいが望ましい。(連続可)
講師人数	子ども30人に講師2～3人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎) ・交通費(自家用車) <p>→@37円/km×(岡田周辺から学校までの距離)×2往復</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費等、必要物品 ・資料作成の印刷代
学校側で必要な準備	DVD視聴用の視聴覚設備、裁縫道具、鋏、糊など
講師からの持込資材等	視聴用映像ソフト、参考図書、写真、材料など
講師について	<p>再利用推進活動を文化活動かしてとらえ、実践して30年。団体は平成14年発足。生活者自身がリユース、市民交流、福祉支援、まちの賑わいづくりを4つの趣意として、消費者のリユースフリーマーケット活動を年間40開催、リユースで回収した物品で海外の児童教育支援をする活動、福祉活動やボランティア活動、市民活動などの企画や広報の支援も行っています。</p>
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・カンボジアの小学校へのリユース楽器の回収、メンテナンス、座学から発送までを現地小学校三年生、寿台児童館、学童クラブ等で開催。 ・市内の児童館を運営するNPO法人と協働で、各児童館の児童が、ペットボトルなどリメイクして作った作品を持ち寄り、先生たちと「リユースバザー」を行って震災で被災した門脇小学校の支援イベントを寿台児童館にて実施他。
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】フリマネット信州 【担当者名】立石恵子 【◎TEL】090-9664-5510 【FAX】0263-55-4451 【Eメール】furimanet@yahoo.co.jp 【HP】http://furimanet.com/</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>


講座名称	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」 (講座 No. 5)
支援事業内容	<p>松本市民である私たちが取り組むべき5つの柱について、パワーポイント等を使って学習し、自分たちになにができるのか、一緒に考えます。</p> <p>学習内容は、以下の1～5の中から組み合わせが可能です。(要相談)</p> <p><5つの柱プログラム></p> <p>1 地球にやさしく 地球温暖化を防ぐために一人ひとりが節電や省エネに取り組むことの重要性を学びます。</p> <p>2 資源を大切に 「もったいない」をキーワードとした3Rの取組みやごみの現状、わたしたちにできることなどについて学びます。</p> <p>3 安心・安全な暮らし 松本市の騒音や水などの環境の状況や、私たちの行動がどのように環境に影響をあたえるのかを、実際の騒音計等を使って学びます。</p> <p>4 自然のめぐみ 生きものあふれる松本プラン「生物多様性」について、わかりやすく学びます。</p> <p>5 心地よいまち 身近にある心地よいかおりや音、花いっぱい運動を通じて、地域で自慢できる環境について学びます。</p>
対象	小学4年生以上
時間数	1 時限
講師人数	講師 1～2 名
費用	<p><u>①講師謝礼</u> ・無料</p> <p><u>②クラス・学年全体に必要なもの</u> ・なし</p> <p><u>③児童個人に必要なもの</u> ・なし</p>
学校側で必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター、スクリーン、資料等
講師について	
開催実績	
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】松本市環境政策課 【担当者名】降幡 【TEL】34-3268 (平日9時～17時なら連絡可能) 【FAX】34-0400 【Eメール】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp 【住所】〒390-8620 松本市丸の内3-7</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>




【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ（講座 No. 6）
支援事業内容	<p>気象予報士が、地球環境や身近な環境問題について、スライドや教材を用いて講習します。地球環境、自然災害、ごみ問題、省エネルギー・自然エネルギー等について学べます。</p>  
対象	小学校高学年から中学生まで
時間数	要相談
講師人数	1クラス～1学年に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン（※体育館、講堂などで実施する場合はマイク）
講師からの持込資材等	パソコン、教材
講師について	気象予報士の資格を持ち、市内で地球温暖化防止活動を行う市民団体「エコネットまつもと」の代表を務めています。市の環境審議会委員、県の地球温暖化防止活動推進員等としても活動しています。
開催実績	随時開催 市民向けワークショップ・松本市環境学習講座（エコスクール）内での講習 平成30年度 明善小
その他	<p>・「竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり（講座 No.14）」、「小水力発電機による自然エネルギー体験（講座 No.21）」と同日実施が可能です。（要相談） ・No.14、21の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】 松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 【担当者名】 鈴木 喜一郎 【代表者名】 宮澤 信 【TEL】 0263-57-5460（時以降なら連絡可能） 【☎FAX】 0263-57-5460 【Eメール】 — 【HP】 https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kankyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】 —</p>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー（講座 No. 7）
支援事業内容	<p>山&川&水の繋がり、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！</p> 
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	1時間程度（内容によって変動有）
講師人数	子ども30人に講師1名（1クラス or 学校単位で1講師も可能）
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備	スクリーン・プロジェクター
講師からの持込資材等	PC・レスキュー用品など
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	<p>平成28年度 波田小学校 梓川リバーアドベンチャー</p> <p>平成29年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー</p> <p>田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング</p> <p>平成30年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー</p>
その他	・No.26、27、28、30の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】リトルピークス【代表者名】小峰邦良</p> <p>【担当者名】小峰邦良</p> <p>【TEL】0263-93-1243/090-3561-5351</p> <p>【FAX】0263-93-1243</p> <p>【メール】mine@littlepeaks.jp</p> <p>【HP】https://www.littlepeaks.jp/</p> <p>【住所】松本市安曇 4306-7</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


【分類：校内 - たべる】

講座名称	ぬかくどご飯炊き体験 (講座 No. 8)	
支援事業内容	<p>昔ながらの「ぬかくど釜」でご飯を炊き、美味しいお米を味わっていただけます。「ぬかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜で、紙芝居にて概要を説明します。</p> <p>※3釜持参可能（おにぎり約70個/釜）</p>	
対象	小学校3年生以上中学3年生まで、特別支援学級	
時間数	2時間分程度	
講師人数	子ども30人に講師2人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・お米代等 6枡（おむすび150個）で約7000円</p>	
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談	
講師からの持込資材等	ぬか、その他の備品	
講師について	<p>Iターン者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して、平成18年に設立したNPO法人です。平成19年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」「安曇野さんぽ」を年10回程度開催し、過去のルート図を「ふるさとウォッチングマップ」としてまとめ、公式サイトで公開しています。また、平成27年度に地域ガイド育成講座「案内人の教室」をスタートし、平成30年度より松本観光ホスピタリティカレッジ「ガイドコース」の講師も務めています。</p>	
開催実績	<p>平成27～29年度 会田中学校・二子小学校 平成30年度 二子小学校</p>	
その他	・No.31の講座も提供しています。	
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】等々力 秀和 【TEL】0263-81-1325（9-18時なら連絡可能） 【FAX】0263-81-1280 【メール】lifeport@nifty.com 【HP】http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2</p>	
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>	


【分類：校内 - たべる】

講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No. 9)	
<p>支援事業内容</p>	<p>木の成長を体験的に学べる学習です。 木が成長する際、1年に1つの円ができ、それが年十年何百年と続くことで年輪ができます。 木の成長に思いを馳せながら、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。また、竹や間伐材などを活用する学習も可能です。</p> 	
<p>対象</p>	<p>小3から中3まで、特別支援学級</p>	
<p>時間数</p>	<p>120分程度</p>	
<p>講師人数</p>	<p>子ども15人に講師1人</p>	
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・炭（10kg） 約1,000円/児童15人分 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・食材 約4,000円/児童15人分 （卵(大)40個、バター600g、ホットケーキミックス1kg、小麦粉500g、砂糖600g）</p>	
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>長机1台/児童15人分</p>	
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>レシピ等の資料、竹の棒などの資材、機材一式</p>	
<p>講師について</p>	<p>平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。会員数65名。</p>	
<p>開催実績</p>	<p>平成28年度 鎌田小、二子小 平成29年度 今井小、二子小（4年・特支）、四賀小、鎌田小、会田小 平成30年度 会田中、四賀小、菅野小、二子小（4年・特支）</p>	
<p>その他</p>	<p>・No.12の講座も提供しています。</p>	
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】 寿さと山くらぶ 【代表者名】 白川良昌 【担当者名】 鈴木喜一郎 【TEL】 0263-57-5460 / 080-5109-9715 【FAX】 0263-57-5460 【住所】 〒399-0022 松本市松原9-17</p>	
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>	

【分類：校内 - たべる】

講座名称	木質バイオマスエネルギー利用方法 (講座 No. 10)
支援事業内容	<p>木質バイオマス活用の重要性と活用方法を学びます。ロケットストーブを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取り出す体験をします。</p> 
対象	小学5年生以上
時間数	2時間～3時間程度
講師人数	子ども30人に対して講師1人必要（体験型の場合は10人に1人）
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・（炊飯を伴う場合）ポリ袋</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・（炊飯を伴う場合）米代</p>
学校側で必要な準備	火を使っても大丈夫な場所の確保
講師からの持込資材等	体験用の機材一式
講師について	<p>2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。</p> <p>講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。</p>
開催実績	<p>2014～2017年度 会田中学校 木質バイオマス活用</p> <p>2017年度 清水小学校 防災とバイオマス</p>
その他	<p>・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。</p> <p>・No.1の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】平島安人 【代表者名】平島安人 【TEL】0266-52-0160（留守電） 【FAX】0266-52-0160 【◎メール】nematsu@gmail.com 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>



【分類：校内 - つくる】

講座名称	プランター菜園講座 (講座 No. 11)
支援事業内容	<p>年間を通じてお米の肌ヌカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きもの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。</p> <p>作物を育てる活動は5月～9月が活動時期の目安です。</p> <p>学校や近隣に出向き、農業体験の講座を実施することが可能です。</p> 
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	90～110分程度(2時限程度)
講師人数	子ども30人に対し最低1人の講師
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎) + 交通費相当2,000円 <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランター、苗代、肥料代等(応相談) <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応相談
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成25年度～30年度 主催事業で実施
その他	<p>主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No.32、34の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】いきものみつけファーム in 松本推進協議会</p> <p>【担当者名】事務局担当 藤村哲 【代表者名】会長 降旗一路</p> <p>【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能)</p> <p>【FAX】0263-88-7595</p> <p>【メール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp</p> <p>【HP】</p> <p>【住所】松本市寿北9-7-17</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>



【分類：校内 - つくる】

講座名称	木材の活用法（小物づくり） (講座 No. 1 2)
支援事業内容	<p>間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。</p> <p>また、山林での森林整備体験なども行います。（応相談）</p> 
対象	小学4年生から中学3年生まで
時間数	120分程度
講師人数	子ども6～8人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・木工材料費1人あたり約100円（事前の相談で決定）</p>
学校側で必要な準備	図工室、木工室等の会場（電源がある部屋）
講師からの持込資材等	木工に必要な木材、機材一式
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。会員数65名。
開催実績	<p>平成27年度 鎌田小学校、会田中学校（森林整備指導）</p> <p>平成28年度 島立小学校、二子小学校、会田中学校、菅野小学校</p> <p>平成29年度 島内小</p> <p>平成30年度 源池小</p>
その他	<p>・事前学習として、木の学習や素材探し（小物の飾りとなるドングリ、押し花等）の対応も可能です。</p> <p>・No.9の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】 寿さと山くらぶ 【代表者名】 白川良昌</p> <p>【担当者名】 鈴木喜一郎</p> <p>【TEL】 0263-57-5460 / 080-5109-9715</p> <p>【☎FAX】 0263-57-5460</p> <p>【住所】 〒399-0022 松本市松原 9-17</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。 ②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。</p>



【分類：校内 - つくる】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成） （講座 No. 13）
支援事業内容	<p>マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象	小学校中学年以上（家庭科の授業開始後が望ましい）
時間数	2時間程度
講師人数	子ども10人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・材料（①40cm四方の布、②約40cmのひも） ・裁縫道具、アイロン
講師からの持込資材等	<ul style="list-style-type: none"> ・マイ箸袋のサンプル
講師について	市内在住のボランティアが作成を指導します。
開催実績	<p>平成27年度 島立小学校・信州大学教育学部附属松本小学校 平成28年度 鎌田小学校 平成29年度 信州大学教育学部附属松本小学校</p>
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】松本市社会福祉協議会ボランティアセンター 【担当者名】百瀬 【代表者名】渡辺 聡 【TEL】0263-27-3381（8:30～17:15） 【☎FAX】0263-27-2239 【Eメール】chiiki@syakyo-matsumoto.or.jp 【HP】http://www.syakyo-matsumoto.or.jp 【住所】〒390-0833 松本市双葉4番16号</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

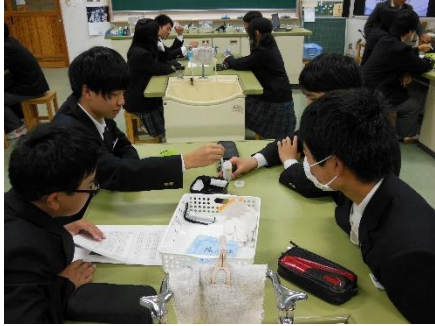

【分類：校内 - つくる】

講座名称	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり (講座 No. 14)
<p>支援事業内容</p>	<p>竹材を加工・装飾したキャンドルフード、蜜ろう製のろうそくを作ります。作品は、地球温暖化防止の啓発イベント「キャンドル・ナイト in MATSUMOTO」(6月：松本市美術館、12月：松本駅前)にて展示・点灯します。竹資源の利活用や地球温暖化防止について、作品づくりを通して楽しく学べます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>対象</p>	<p>小学校高学年から中学生まで、特別支援学級</p>
<p>時間数</p>	<p>2～3時間程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども5～6人に講師1人</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>工作室の確保(※蜜ろうそくを製作する場合は、火気使用可能な教室の確保)</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>竹材、のこぎり、電動ドリル、軍手、蜜ろう、ガスコンロ等</p>
<p>講師について</p>	<p>平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト(6月、12月)」、「打ち水大作戦(8月)」等を行っています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成28年度 鎌田小、市民向けワークショップ 平成29年度 鎌田小、市民向けワークショップ 平成30年度 明善小、四賀小(特支)、市民向けワークショップ</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ(講座No.6)」と同日実施が可能です。(要相談) ・竹筒キャンドルのみの製作も可能です。 ・No.6、21の講座も提供しています。
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460 【FAX】0263-57-5460 【Eメール】— 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kankyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】—</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX：32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - つくる】

講座名称	自然素材で簡単工作 (講座 No. 15)
支援事業内容	<p>木の輪切りや木の実を使って簡単な工作をします。ノコギリや小刀など道具が安全に使えるようになる講座です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級
時間数	45分程度
講師人数	子ども 15 人に講師 1 人 (安全確保の観点から、最低 2 名での実施を希望します。)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 1 人につき 5,000 円 (授業 1 回分毎) ・交通費 (自家用車) → @37 円/km × (以下住所から学校までの距離) × 2 往復 <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工作の材料費 100～200 円程度 (内容による)
学校側で必要な準備	工作が実施可能な場所の確保
講師からの持込資材等	工作に使う道具 (のこぎり、小刀など)、自然素材 (枝、木の実)
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	<p>平成 28 年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャーゲームなどの自然体験活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など</p> <p>平成 29 年度 島内小、教育課程「自然体験 (ネイチャーゲーム)」</p> <p>平成 30 年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」</p>
その他	・ No.38、39 の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】 NPO 法人わおん 【代表者名】 山田 勇 【担当者名】 山田 勇 【TEL】 0263-87-3005 (朝 9 時以降なら連絡可能) 【◎FAX】 0263-87-4024 【Eメール】 waon@ac.auone-net.jp 【HP】 http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】 〒399-0704 塩尻市広丘郷原 685</p>
申込み方法	①申込書を上記 FAX 番号に送付する。 ②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	やさしい放射線の実験教室 (講座 No. 16)
支援事業内容	<p>放射線は自然に存在し、正しい管理のもとで利用されることで、人の役に立つこと、また、原子力発電所の事故を受けて、これからのエネルギーについて考えるきっかけになればと思います。普段目に見えない放射線の飛んだ軌跡を簡単に観察でき、放射線測定器を使って放射線量の測定を体験できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象	小学3年生から中学3年生まで
時間数	120分程度
講師人数	子ども20人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの、その他 → 【学年費等】 ・ドライアイス</p>
学校側で必要な準備	スクリーン、プロジェクター
講師からの持込資材等	実験道具一式、パソコン
講師について	松本市内で40年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせて、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。
開催実績	平成27年度 会田中学校
その他	・No.17の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】株式会社 環境技術センター【代表者名】勝野宗一 【担当者名】宮澤 恵美 【TEL】0263-27-1606（受付時間8:40～17:10） 【FAX】0263-27-2133 【メール】miyazawa.m@kgcenter.co.jp 【HP】http://www.kgcenter.co.jp 【住所】〒399-0033 松本市大字笹賀 5652-166</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。



【分類：校内 - 実験する】

講座名称	水はどこから？ (講座 No. 17)
<p>支援事業内容</p>	<p>海や川の水が蒸発して雲になり、雨となって地上に落ちてきて、また海に流れるという循環が、地球が誕生して何億年も前から繰り返され、これからも続いていくはず。だから、未来の人たちのためにも水は大切に、汚さないように使わなければならないことを実感できたらと思います。また、3種類の水を用意して、きき水の体験をしてもらいます。日本の水とヨーロッパの水の味の違いを体験して、どうして味の違いが出るのかを試験します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>対象</p>	<p>小学3年生から中学3年生まで</p>
<p>時間数</p>	<p>120分程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども20人に講師2名</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・硬度の違うペットボトル水（日本の天然水、コントレックス） ・紙コップ ・パックテスト（硬度） ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>スクリーン、プロジェクター</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>実験道具一式、パソコン</p>
<p>講師について</p>	<p>松本市内で40年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせて、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成27年度 波田小学校 平成28年度 田川小学校 平成29年度 安曇小学校</p>
<p>その他</p>	<p>・No.16の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】株式会社 環境技術センター【代表者名】勝野宗一 【担当者名】宮澤 恵美 【TEL】0263-27-1606（受付時間8:40～17:10） 【FAX】0263-27-2133 【メール】miyazawa.m@kgcenter.co.jp 【HP】http://www.kgcenter.co.jp 【住所】〒399-0033 松本市大字笹賀 5652-166</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

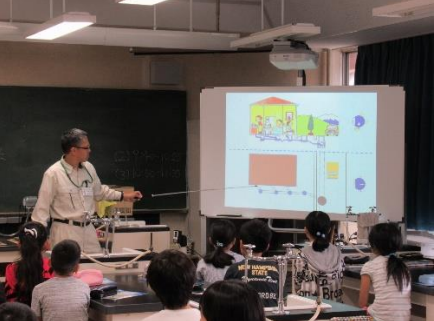

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	あかりのエコ教室 (講座 No. 18)
<p>支援事業内容</p>	<p>3種類のランプ（白熱灯・蛍光灯・LED）を使った実験で特徴や違いを発見し発表します。ランプのしくみや省エネについて学べる講座です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>対象</p>	<p>小学校4年生から6年生まで</p>
<p>時間数</p>	<p>1時限（45分）</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども40人に講師3名</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>スクリーンもしくはモニターTV・プロジェクター</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>手回し発電機・電力測定器（4～5人で1台）</p>
<p>講師について</p>	<p>第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成27年 波田小学校6年 平成28年 安曇小学校5・6年 平成29年 鎌田小学校5年・清水小学校4年</p>
<p>その他</p>	<p>・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。 ・No.19の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】 パナソニック（株）ライフソリューションズ社 松本電材営業所 【代表者名】 妹尾 啓太郎 【担当者名】 丸山 貴世 【TEL】 0263-27-4501 【FAX】 0263-27-4509 【メール】 maruyama.kiyo@jp.panasonic.com 【HP】 http://panasonic.co.jp/ls/company/education/ 【住所】 〒399-0004 松本市市場3-10</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>


【分類：校内 - 実験する】

講座名称	エコと太陽光発電教室 (講座 No. 19)
支援事業内容	<p>環境にやさしい太陽光発電のしくみを学び、実験を通じて太陽光発電の特徴（長所・短所）に気づき、考え、発表します。 太陽光発電の特徴を理解し、日常生活に置換えて学べる講座です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象	小学校4年生から6年生まで
時間数	1時限（45分）
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	<p>①講師謝礼 ・無料</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	スクリーンもしくはモニターTV・プロジェクター
講師からの持込資材等	太陽電池・温度計・電力計他
講師について	第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞
開催実績	<p>（あかりのエコ教室）</p> <p>平成27年 波田小学校6年 平成28年 安曇小5・6年 平成29年 清水小4年、鎌田小5年</p>
その他	<p>・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。</p> <p>・No.18の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】 パナソニック（株）ライフソリューションズ社 松本電材営業所 【代表者名】 妹尾 啓太郎</p> <p>【担当者名】 丸山 貴世</p> <p>【TEL】 0263-27-4501</p> <p>【FAX】 0263-27-4509</p> <p>【◎メール】 maruyama.kiyo@jp.panasonic.com</p> <p>【HP】 http://panasonic.co.jp/ls/company/education/</p> <p>【住所】 〒399-0004 松本市市場3-10</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	ワクワク下水道教室 (講座 No. 20)
<p>支援事業内容</p>	<p>下水道の仕組みについて学ぶ学習です。 (内容) 1 学校から浄化センターまでの下水の流れ 2 ペットボトルを使った紙の溶け方の実験 3 顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>社会科見学で下水の浄化センターに行く前に、予習として利用していただくと効果的です。</p>
<p>対象</p>	<p>小学4年生</p>
<p>時間数</p>	<p>1 時限 (1 クラス毎)</p>
<p>講師人数</p>	<p>講師 2 ～ 3 名</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの ・なし ③児童個人に必要なもの ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>教室の確保 (テーブルごとに水道のある理科室または家庭科室等) 電子黒板またはモニターまたはスクリーンの確保 電源の確保</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>ペットボトル (児童数×2 本)、顕微鏡カメラセット、パソコン等</p>
<p>講師について</p>	<p>松本市上下水道局 下水道課 宮渕及び両島浄化センター職員</p>
<p>開催実績</p>	<p>H28 岡田、今井、菅野、二子 (すべて小学4年生) H29 菅野、筑摩、二子、中山 H30 開智、旭町、寿、菅野、筑摩、二子、波田、附属、並柳、本郷</p>
<p>その他</p>	<p>開催前に機材等の確認を兼ねて打合せをお願いします。 (10～20 分程度です。開催実績のある学校は省略可) 5～7 月に社会見学の学校が多いため、ご希望の日程に添えない場合がありますが、ご了承願います。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】松本市上下水道局 下水道課 【担当者名】両角昌幸 【TEL】27-4465 (平日 9 時～17 時なら連絡可能) 【FAX】29-0933 【Eメール】ryou-jc@city.matsumoto.lg.jp 【住所】〒390-0848 松本市両島 3-1 (両島浄化センター)</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書を上記 FAX 番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - 実験する】


講座名称	小水力発電機による自然エネルギー体験 (講座 No. 21)	
<p>支援事業内容</p>	<p>可搬式の小水力発電機を使って、水力発電の仕組みを学びます。また、ソーラーカーや発電自転車の試乗体験を通して自然エネルギーについて学びます。</p> 	
<p>対象</p>	<p>小学校高学年から中学生まで、特別支援学級</p>	
<p>時間数</p>	<p>60分程度</p>	
<p>講師人数</p>	<p>子ども30人に講師1人</p>	
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>	
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>校内の流水（落差）がある箇所</p>	
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車</p>	
<p>講師について</p>	<p>平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト(6月、12月)」、「打ち水大作戦(8月)」等を行っています。</p>	
<p>開催実績</p>	<p>平成18年度～ 松本市消費生活展への出展（ソーラーカー、発電自転車の試乗体験）</p>	
<p>その他</p>	<p>・「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ（講座No.6）」と同日実施が可能です。（要相談） ・No.6、14の講座も提供しています。</p>	
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460（時以降なら連絡可能） 【FAX】0263-57-5460 【Eメール】— 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kankyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】—</p>	
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>	

【分類：校外 - 公園等】


講座名称	身近な自然観察 (講座 No. 2 2)
<p>支援事業内容</p>	<p>自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。 四季折々を楽しみながら、身近な場所の校庭や水辺（小川）、まちなか等で自然観察のガイドを行います。 また、外来植物（外来生物）のお話をすることもできます。 必要に応じて、フィールドに出る前あるいは後に、教室でのレクチャーを希望される場合は対応いたします。別の日程で組んでいただくことも可能です。</p> 
<p>対象</p>	<p>小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定 特別支援学級（要相談）</p>
<p>時間数</p>	<p>1回で2～3時間程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども15人に対して講師1人が理想的（先生と協力して1クラス程度まで）</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	
<p>講師について</p>	<p>1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を目指して、自然観察会やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成27年度 今井小学校 自然観察からはじまる自然保護の実践 平成28年度 今井小学校 学習林にて、身近な自然観察 平成29年度 今井小学校 学習林にて、身近な自然観察 平成30年度 今井小学校 学習林にて、身近な自然観察</p>
<p>その他</p>	<p>上高地パークボランティアとしての中学校自然観察ガイド（5件/年）、松本盲学校でのガイドの経験有、市内地区公民館での自然観察ガイド等</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】自然観察の会 ひこばえ 【代表者名】村上さよ子 【担当者名】村上さよ子 【TEL】0263-26-1573 / 090-7204-8140（いつでも連絡可能） 【◎FAX】0263-26-1573 【住所】〒390-0847 松本市笹部3-11-3</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校外 - 川】


講座名称	水辺の観察会 (講座 No. 23)
支援事業内容	<p>○水辺の生物観察の指導を行います。 ・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。 ・水生生物の生息状況と、透視度やCODなどの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象	小学校1年生～6年生（学年に合わせた授業を行います。）
時間数	1～1.5時間
講師人数	子ども20人に講師1名
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・ ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・</p>
学校側で必要な準備	水辺観察会の手引書（カラーコピーでも可）
講師からの持込資材等	バケツ、バット、手網、透視度計、他
講師について	水辺の自然環境の調査、環境学習、国際協力を実施する団体で主に梓川や松本地域で活動しています。
開催実績	梓川での水辺学習会 田んぼでの生きもの観察会
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人 えんどっこ 【担当者名】大月健二 【◎TEL】090-4463-5887 【HP】http://endotuko.com/ 【住所】</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 24)	
支援事業内容	<p>市内の河川などにいる水生生物の採取と観察を行います。実際に川に行き、水生生物の採集を行い、水生生物の種類ごとに分類する等、観察方法を学び、川の面白さについて実感する講座です。</p> <p>【これまでに実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり ・父親が子育てをするコオイムシ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかかわり 	
対象	全学年（学年に合わせた授業を行います）	
時間数	3時間程度	
講師人数	子ども10人に講師1人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費 開催内容による（事前の相談で決定） <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費 開催内容による（事前の相談で決定） 	
学校側で必要な準備	事前講義（安全等）、網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット、虫めがね（10～20倍）、バケツ、ノート（スケッチ用紙）、画用紙、色鉛筆	
講師からの持込資材等	網類、バット、ピンセット	
講師について	身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成立ちを考え、今後の川の姿に関して提言するNPO法人です。	
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27、28、29、30年度 田川小学校 <ul style="list-style-type: none"> ①奈良井川脇の湧水に行って水中生物を探す。 ②学校に戻り、捕まえた水中生物をルーペ等で観察する。 ③水中生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。 ・平成28年度 信州大学教育学部附属松本小学校 <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して定期的に女鳥羽川を散策してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりする事を通して、女鳥羽川への関心を更に高めた。 	
その他		
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人 川の自然と文化研究所 【担当者名】山本雅道 【代表者名】吉田利男 【TEL】090-5413-7161 【FAX】0263-37-3327 【メール】bassyam@shinshu-u.ac.jp</p>	
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。</p>	


【分類：校外 - 川】


講座名称	梓川リバーアドベンチャー (講座 No. 26)
支援事業内容	<p>川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！</p> 
対象	小1から中3まで、特別支援学級（応相談）
時間数	3時間程度（内容・河川によって変動有）
講師人数	子ども10人に講師1名（内容・河川によって変動有）
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥200/参加者（学校保険にて対応可能） ・レンタル料金¥500（ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む）</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	<p>2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。</p>
開催実績	<p>平成28年度 波田小学校 梓川リバーアドベンチャー 平成29年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー 田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング 平成30年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー</p>
その他	<p>・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお気軽にご要望をお聞かせください！</p> <p>・No.7、27、28、30の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】リトルピークス【代表者名】小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 【TEL】0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】0263-93-1243 【メール】mine@littlepeaks.jp 【HP】https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】安曇4306-7</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校外 - 川】


講座名称	梓川&奈良井川&犀川ラフティング (講座 No. 27)	
支援事業内容	川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！	
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級（応相談）	
時間数	3時間程度（内容・河川によって変動有）	
講師人数	子ども7人に講師1名（内容・河川によって変動有）	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥350/参加者（学校保険にて対応可能） ・レンタル料金¥500（ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む）</p>	
学校側で必要な準備	プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など	
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど	
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。	
開催実績	平成28年度 波田小学校 梓川リバーアドベンチャー 平成29年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー 田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング 平成30年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお気軽にご要望をお聞かせください！ ・No.7、26、28、30の講座も提供しています。 	
講師連絡先	<p>【団体名】 リトルピークス【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【メール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 松本市安曇 4306-7</p>	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校外 - 川】

講座名称	水殿ダムクラフトピクニック（ダム見学付き）	（講座 No. 28）
支援事業内容	川&水の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます（ダムの機能も学べます）！！	
対象	小1から中3まで、特別支援学級（応相談）	
時間数	3時間程度（内容によって変動有）	
講師人数	子ども7人に講師1名（内容・河川によって変動有）	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥350/参加者（学校保険にて対応可能） ・レンタル料金¥500（ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む）</p>	
学校側で必要な準備	プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など	
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど	
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。	
開催実績	平成28年度 波田小学校 梓川リバーアドベンチャー 平成29年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー 田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング 平成30年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー	
その他	今期よりスタートする新プログラム！ご紹介したプログラム（No.6、26、27、28、30）を繋ぐことで山・川・水を源流から河口までアクティビティーで繋ぐことが実現！！是非ともご体験ください。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください！！	
講師連絡先	【団体名】 リトルピークス 【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243/090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【メール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 松本市安曇 4306-7	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

講座名称	子どもの森の健康診断 (講座 No. 29)
支援事業内容	<p>森(人工林)の健康状態について学べる講座です。</p> <p>1 事前学習支援 年間授業内での組みたてアドバイザー派遣、座学・丸太切りなど</p> <p>2 フィールドで行う体験学習支援 体験学習：学校近くの人工林で、調査と間伐体験をします。</p> <p>3 フォローアップ支援 体験後の報告会に向けて、必要な支援があればご相談ください。</p> 
対象	小学5年生以上、特別支援学級（要相談）
時間数	<p>実施内容は、「座学/紙芝居」「調査」「空開け(間伐)体験」となり、柔軟に対応できるプログラムとテキストを用意しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最短コース（3時間）短縮版テキスト【紙芝居+調査+間伐体験】 ● 標準コース（3時間*2回）フル版テキスト 1回目【紙芝居+調査】2回目【間伐体験】 ※昼を挟んで<午前中>と<午後>、もしくは、<春>と<秋>に実施 ● 理想コース（座学2時間+標準コース） ● カスタムコース（3時間以上、ご要望で）
講師人数	子ども5、6人で1班。各班に対して講師2人必要
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人に5,000円（授業1回分毎）+交通費相当分（要相談）</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備	フィールド確保と所有者への了解。不明の場合はご相談ください。
講師からの持込資材等	調査グッズ一式、調査手帳一式（手帳、下げ紐、下敷き、ボールペンなどを含む）、伐倒道具、授業内容により丸太や枝葉実物
講師について	登録講師は、豊田市初級間伐講座、「森の健康診断」のリーダー研修を受講し、全国の様々な団体および学校への派遣実績を持ちます。
開催実績	豊田市矢作川流域での森の健康診断10年以上、全国への講師派遣実績は100件を超え、その内、学校授業支援が近年増え年間30件ほど。 長野県内実績 平成29年度 奈川小学校 平成30年度 塩尻市宗賀小学校
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】森の健康診断出前隊 【担当者名】筏井美枝子 【代表者名】丹羽健司 【TEL】050-5317-8210（留守電に伝言を入れてください。折り返します。） 【メール】school@mori-gis.org 【HP】http://mori-gis.org/kids http://mori-gis.org/school 【住所】〒444-2816 豊田市杉本町三斗成1-3 旧杉本保育園</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外 - 山】

講座名称	地元の山が100倍好きになる登山学 (講座 No. 30)
支援事業内容	山の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 
対象	小1から中3まで、特別支援学級（応相談）
時間数	半日～一日程度（内容・山域によって変動有）
講師人数	子ども10人に講師1名（内容・河川によって変動有）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥200/参加者（学校保険にて対応可能）
学校側で必要な準備	登山に必要な資機材・昼食・飲み物など
講師からの持込資材等	レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	平成28年度 波田小学校 梓川リバーアドベンチャー 平成29年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー 田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング 平成30年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー
その他	・乗鞍岳に留まらず、皆様のお近くに聳える身近な山での体験も喜んでコーディネートいたします。昨今学校登山での事故やトラブルが増えております。是非ともご不安な場合はプロの山ガイドにお任せ頂けると幸いです。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください！！ ・No.7、26、27、28の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 リトルピークス 【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【メール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 安曇 4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


【分類：校外 - 特定の場所・その他】

講座名称	地域発見ウォーキング (講座 No. 3 1)
<p>支援事業内容</p>	<p>安曇野市内の屋敷林、拾ヶ堰、道祖神等の原風景が残る地域を、クイズ等を楽しみながら案内します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>対象</p>	<p>小学校3年生以上中学3年生まで、特別支援学級</p>
<p>時間数</p>	<p>2時間分程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども30人に講師2人</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>備品（打合せを通じて別途相談）</p>
<p>講師について</p>	<p>Iターン者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して、平成18年に設立したNPO法人です。平成19年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」「安曇野さんぽ」を年10回程度開催し、過去のルート図を「ふるさとウォッチングマップ」としてまとめ、公式サイトで公開しています。また、平成27年度に地域ガイド育成講座「案内人の教室」をスタートし、平成30年度より松本観光ホスピタリティカレッジ「ガイドコース」の講師も務めています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>（ぬかくどご飯炊き体験） 平成27～29年度 会田中学校・二子小学校 平成30年度 二子小学校</p>
<p>その他</p>	<p>・No.8の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】等々力 秀和 【TEL】0263-81-1325（9-18時なら連絡可能） 【☎FAX】0263-81-1280 【☎メール】lifeport@nifty.com 【HP】http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校外 - 特定の場所・その他】

講座名称	精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について (講座 No. 3 2)
支援事業内容	<p>お米について学べる講座です。 年間を通じてお米の肌ヌカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きもの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。作物を育てる活動は5月～9月が活動時期の目安です。精米工場の見学は年中できます。学校や近隣に出向き、農業体験や自然体験などの講座を実施することも可能です。</p> 
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	90～110分程度(2時限程度)年間3回程度
講師人数	子ども15人程度に講師1名目安
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎)+交通費相当2,000円</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代、実習用資材使用代等(応相談)</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・資料代、実習用資材使用代等(応相談)</p>
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	田植え、稲刈りに必要な資材
講師について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成25年度～30年度 主催事業で実施
その他	<p>・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。</p> <p>・No.11、34の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】いきものみつけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【代表者名】会長 降旗一路 【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【メール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


【分類：校外 - 特定の場所・その他】

講座名称	石窯ピザづくりたいけん (講座 No. 33)
支援事業内容	<p>間伐材を使って石窯を加熱しながら環境問題を考え、加熱された石窯でピザ調理しながら再生エネルギーの力、蓄熱エネルギーの原理を学べる講座です。</p> 
対象	小学3年生から中学3年生まで
時間数	120分程度
講師人数	子ども約15人に講師1人（教諭も含めた参加者定員は17人）
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎）</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・薪（広葉樹のもの） 約500円/15人（1クラス）</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・ピザ材料代 約100円/1人（1人あたりピザ20cmの1/4の大きさ）</p>
学校側で必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・講座実施場所（松本市横田）への往復付き添い ・参加者の食物アレルギーの有無の事前確認
講師からの持込資材等	特になし
講師について	平成28年に設立し、地元の間伐材を利用して再生エネルギーの活用と環境問題への寄与を図り、石窯体験活動を通じて子供の健全育成へ寄与する団体です。会員数11名です。
開催実績	平成29年度 信大付属小 平成30年度 D幼稚園
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施の2カ月前には申し込みの連絡をしてください。 ・4月から11月の間のみ、プログラム実施が可能です。 ・実施場所は松本市横田ですので参加者の移動往復が必要 ・雨天・強風では実施不可能なので直前での実施日変更の可能性有
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人石窯スマイル研究会 【担当者名】桐原 眞幸 【代表者名】桐原 眞幸 【TEL】0263-36-8835 【FAX】0263-36-8835 【Eメール】ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】http://smilestone-labo.com 【住所】〒390-0804 松本市横田 4-1-1（講座実施場所）</p>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。



【分類：校内外両方で可】

講座名称	いきもの探しと観察及び環境教育講座 (講座 No. 34)
<p>支援事業内容</p>	<p>身近にある自然と環境について学べる講座です。 生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。学校や近隣に出向き、自然体験などの講座を実施することも可能です。</p> 
<p>対象</p>	<p>小1から中3まで、特別支援学級</p>
<p>時間数</p>	<p>90～110分程度 (2時限程度)</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども20人に講師1名が目安</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎)+交通費相当2,000円程度 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談) ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談)</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>自然体験・環境教育学習に必要な資材</p>
<p>講師について</p>	<p>いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成27年度～30年度 菅野小</p>
<p>その他</p>	<p>・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。 ・No.11、32の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】いきものみつけファーム in 松本推進協議会 【代表者名】会長 降旗一路 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【メール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【HP】 【住所】松本市寿北9-7-17</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>


【分類：校内外両方で可】

講座名称	体感&体感！ 自然体験学習！！ （講座 No. 35）	
支援事業内容	1 火起こし教室～舞切り式、新聞を使わない方法、火の育て方等 2 燻製教室、保存食の知恵（校内可） 3 カモフラージュ・同じモノ見つけ他ネイチャーゲームプログラム 4 木の実・木の葉当てクイズ 5 木育体験…森のかけらのお守り作り 6 その他松枯れ、湧水等地域探検、自然観察 	
対象	小学校 1～2 年生：燻製教室、ネイチャーゲーム 小学校 3 年生以上：上記含む提示したすべてのプログラム	
時間数	基本は 2 時限分（80～90 分）～ 3 限分（120 分） ※移動時間含まず遠隔地や校外学習可、別途ご相談	
講師人数	子ども 30 人に対して 3～4 人の講師	
費用	<u>①講師謝礼 → 【報償費】</u> ・講師 1 人につき 5,000 円（授業 1 回分毎） <u>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</u> ・材料費等は別途（事前相談のうえ決定します。） <u>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</u> ・材料費等は別途（事前相談のうえ決定します。）	
学校側で必要な準備	火起こし用具のセット、燻製用具のセット、教材、ネイチャーゲーム機材など	
講師からの持込資材等	同上	
講師について	四賀地区中川の、廃校小学校（旧中川小学校）活用について、平成 25 年松本市が募集したプロポーザル事業へ応募を行い採択されました。平成 26 年 4 月より活動試行、①おもちゃの楽校①野外体験 ③チームビルディングを主とし、平成 27 年から運営を行っています。公民館、児童会の主催する自然体験学習プログラムの実施、小学校の総合学習支援参加、民間運営の日帰りキャンプ支援等に参加しています。また、県内の野外体験活動団体等のネットワーク、信州外あそびネットワークに加盟しています。	
開催実績	平成 28 年度 会田中 火おこし体験、ネイチャーゲーム 平成 29 年度 島内小 人と火の繋がり～燻製体験試食、ネイチャーゲーム 松塩筑小学校教育課程研究協議会生活科 平成 30 年度 芝沢小	
その他		
講師連絡先	【団体名】 信州やがいたいけん楽校ぷらす 【担当者名】 降幡光幸 【代表者名】 降幡光幸 【TEL】 090-3042-0744（随時連絡可能） 【FAX】 0263-87-2038 【Eメール】 furihata@yt-plus.com 【HP】 http://yt-plus.com/ 【ブログ】 http://yt-plus.blogspot.jp/ 【住所】 〒390-0315 松本市岡田町 630-6	
申込み方法	①申込書の内容を上記 E メールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。	



【分類：校内外両方で可】

講座名称	体験して学ぶ「自然や環境」について (講座 No. 36)	
支援事業内容	<p>自然と環境について学べる講座です。 プロジェクトWILDなど体験型環境教育プログラムを通じて、児童・生徒に身近な自然や、環境について学びと気づきを得ていただけます。これまで県内の小中学校や環境イベントなどで披露した実績もあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
対象	小1から中3まで、特別支援学級	
時間数	90～100分程度	
講師人数	子ども20人に講師1名目安	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談)</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談)</p>	
学校側で必要な準備	打ち合わせ時に確認	
講師からの持込資材等	同上	
講師について	自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで5年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。	
開催実績	平成29年度 田川小学校 平成29～30年度 波田小学校 平成29～30年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント講師	
その他	・No.37の講座も提供しています。	
講師連絡先	<p>【団体名】体験創庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 (10時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【メール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【HP】 【住所】 松本市波田 4507-3</p>	
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。 ②同じものを教育文化センター担当(FAX: 32-7604)にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。</p>	


【分類：校内外両方で可】

講座名称	火おこしと簡単な野外料理、農業体験 (講座 No. 37)
<p>支援事業内容</p>	<p>自然体験と農業について学べる講座です。身近にある田んぼや畑での仕事を児童・生徒に体験してもらうことができます。また、キャンプなどで活用できる火熾しや、野外調理についてそのやり方を知ることができます。</p> 
<p>対象</p>	<p>小1から中3まで、特別支援学級</p>
<p>時間数</p>	<p>90～100分程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども10人に講師1名目安</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・調理実習器材1,000円程度（事前相談のうえ決定します。） ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・食材費1人約300円（事前相談のうえ決定します。）</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>打ち合わせ時に確認</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>同上</p>
<p>講師について</p>	<p>自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで5年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成29年度 田川小学校 平成29～30年度 波田小学校 平成29～30年度 松島中学校</p>
<p>その他</p>	<p>・No.36の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】体験創庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457（10時～19時連絡可能） 【FAX】 0263-88-7595 【メール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【HP】 【住所】 松本市波田 4507-3</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内外両方で可】

講座名称	自然体感プログラム (講座 No. 38)
<p>支援事業内容</p>	<p>学校の校庭など身近な自然を遊びながら観察し、心と身体で自然を感じます。発見や気づきを大切に、「自然を見る目」を育てることができる講座です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>対象</p>	<p>学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級</p>
<p>時間数</p>	<p>45～90分程度 (希望時間に応じたプログラムを実施することもできます。)</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども 20 人に講師 1 人</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円 (授業 1 回分毎) ・交通費 2 日分 (下見・当日) →@37 円/km× (以下住所から学校までの距離) ×2 往復×2 日分 (下見・当日) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談 (基本的には特にありません。)</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>プログラムに使用する備品</p>
<p>講師について</p>	<p>塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成 28 年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャーゲームなどの自然体験活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成 29 年度 島内小、教育課程「自然体験 (ネイチャーゲーム)」 平成 30 年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」</p>
<p>その他</p>	<p>・No.15、39 の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】 NPO 法人わおん 【代表者名】 山田 勇 【担当者名】 山田 勇 【TEL】 0263-87-3005 (朝 9 時以降なら連絡可能) 【FAX】 0263-87-4024 【Eメール】 waon@ac.auone-net.jp 【HP】 http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】 〒399-0704 塩尻市広丘郷原 685</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書を上記 FAX 番号に送付する。 ②同じものを教育文化センター担当 (FAX : 32-7604) にも送付する。 ③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。 ④当日を迎える。</p>

【分類：校内外両方で可】

講座名称	外あそびの達人講座 (講座 No. 39)
支援事業内容	<p>【ロープワーク】ロープの基本的な結び方、ロープの活用方法を実践から学ぶことができます。木があれば、ハンモックや基地づくりができます。</p> <p>【たき火】火のつけ方から始末の方法まで、実践から学ぶことができます。たき火は、たき火台を使って行います。</p> 
対象	小学校1年生～中学校3年生、特別支援学級
時間数	45分～90分程度
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円(授業1回分毎) ・交通費(自家用車) →@37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復 <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材費(たき火で焼いて食べたい物があれば)
学校側で必要な準備	たき火が実施可能な場所の確保(たき火の場合)
講師からの持込資材等	ロープ、ハンモック、たき火台、たき火に必要な道具
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	平成28年度 田川小学校「ネイチャーゲームなどの自然体験活動」朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャーゲーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・希望があれば、校外でも実施できます。 ・ロープとたき火のどちらかを選んでいただくこともできますし、両方実施することもできます。 ・No.15、38の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人わおん 【代表者名】山田 勇 【担当者名】山田 勇 【TEL】0263-87-3005(朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-87-4024 【Eメール】waon@ac.auone-net.jp 【HP】http://waon.naganoblog.jp 【住所】〒399-0704 塩尻市広丘郷原685</p>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト

中信地区環境教育ネットワークによる

信州の環境学習サポートサイト

どんな環境学習
プログラムがあるかな？
どんな活動を
していきたいかな？
ぜひ、ご活用ください！



信州の環境学習サポートの目的

- 環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。
- 中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。
- 良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。
- 環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成/運営

中信地区環境教育ネットワーク

URL <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



【附録】松本市環境政策課からのお知らせ

1 食品ロスをテーマとした環境教育事業（小学生、中学生向け）

本市では、小さいころから「もったいない」という意識を持ってもらうため、食品ロスをテーマとした出前講座を平成28年度から市内全小学校の3年生を対象に行っています。

まだ環境教育を受けていない年代でも、受けた後の年代でも、パワーポイントや歌、すごろく、DVD等を用いて、職員がわかりやすく説明します。

食品ロスをテーマとした環境教育にご興味があれば環境政策課までご相談ください。



食品ロス削減すごろくの活用

食べものが収穫されるまで、購入されるまで、料理するまで、食べるまで、それぞれどんな食品ロスがあるのか、減らしていくためにはどうすればいいかを楽しく学べるすごろくです。必要部数を印刷してお渡しすることもできます。

※ 対象：小学校3年生以上



2 温暖化対策ワークシート（5・6年生向け）の実施について

子どもたちがワークシートを通して地球温暖化問題について知り、家庭や学校で節電・節水等を実践することにより、温暖化対策・省エネルギーに対する意識の醸成を図るものです。

<ワークシート（A3両面印刷・二つ折り）の構成>

① 知る・考える

現代のライフスタイル、化石燃料、省エネ等について

② 行動する

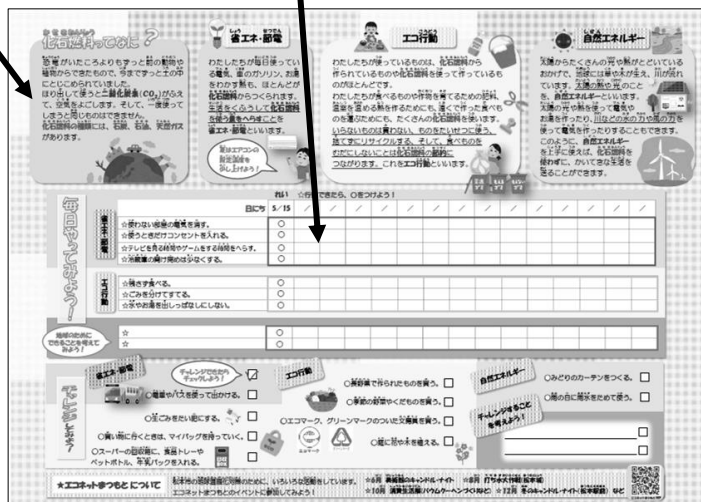
省エネ・エコ行動の実践、チェック（2週間）

③ 振り返る

最後に感想等を記入し、保護者からコメントをもらう。



表紙



裏表紙

☆実施希望の場合は、環境政策課までご連絡ください。必要部数をカラー印刷してお届けします。

年会費
登録料無料



3 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、公益財団法人 日本環境協会が引き継ぎ、実施しているもので、地域における子どもたちの自主的な環境学習や実践活動を支援するものです。

○こどもエコクラブって何をするの？（登録から活動までの流れ）

一緒に活動する仲間（3歳～18歳）と、活動を支える大人（20歳以上）を集めてクラブをつくり、登録します。

子どもたちの興味や関心に基づき、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取り組みましょう。

活動を報告すると、アーススタンプと専門の先生からのアドバイスがもらえます。アーススタンプを5個集めるとアースレンジャー認定証を授与！また継続して活動すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。

○登録すると、活動に役立つツールがもらえます！

希望に応じてメンバーズバッジやエコカード（幼児対象）がもらえます。ウェブサイトからメンバー手帳をダウンロードして使用することもできます。

また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



○活動をはじめするには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができます。または環境政策課担当までご連絡ください。

※こどもエコクラブ

<http://www.j-ecoclub.j>

令和元年度
松本市小中学校
環境教育支援事業報告書

発行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内3番7号
電話 0263-34-3268
E-mail kankyo_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp
編集 松本市環境部環境政策課
協力 中信地区環境教育ネットワーク
印刷 庁内印刷

